

中小企業で働く

——大学生が中小企業で働く際に求めること——

関 智 宏

- I はじめに
- II 調査概要
- III 分析方法
- IV 分析および分析結果
- V 小結

I はじめに

生産年齢人口の減少に伴い、企業は人材を確保することがいっそう困難になることが予想されている。まして中小企業は、大企業と比べて確保が必要な人材の数は相対的に少ないとはいえ、多くの人材が大企業に流れると、その確保がますます困難になる可能性が高い。

大企業や中小企業と言っても、その規模や業種は極めて多様であり、人材確保のあり方にはさまざまなパターンがあろう。また人材と一言で言っても、性別、学歴別、国籍・地域別などで多様であり、一概に論じることはできない。さらに、確保する企業側からみるのか、それとも求職する人材側からみるのかといった視点の違いもある。それぞれ独自の実態把握が必要となる。

本稿では、中小企業を念頭に置き、中小企業で働くという求職側の人材、とくに、学歴別、とりわけ大学生を対象に筆者が実施した、大学生が卒業後に中小企業で働く際に求めることにかかる調査から得たデータを分析することを目的とする。ただし本稿は、調査内容および分析方法、分析、またその結果を示すことにとどめる。

II 調査概要

2016年11月から12月にかけて、筆者が専任および兼任で2016年度に担当した3つの大学の「中小企業論」の履修者を対象に、「中小企業で働くために必要なことは何か」を自由記述で尋ね、回答を得た。回答には、自由記述としか指定しなかったため、項目ごとに箇条書きされたものもあれば、文章として書かれたものも両方混在している。

対象とした3つの大学とは、筆者が専任で担当する同志社大学商学部以外に、兼任で担当する2つの大学（A大学、B大学）である。有効回答はそれぞれ同志社大学が197、A大学が10、B大学が427の計634であった。

回答の一覧を示したものを、末尾の別表に記している。大学別、また回答者の性別（男性には

1を、女性には2を与えた)、学年(たとえば3回生の場合は3を与えた)を記載している。

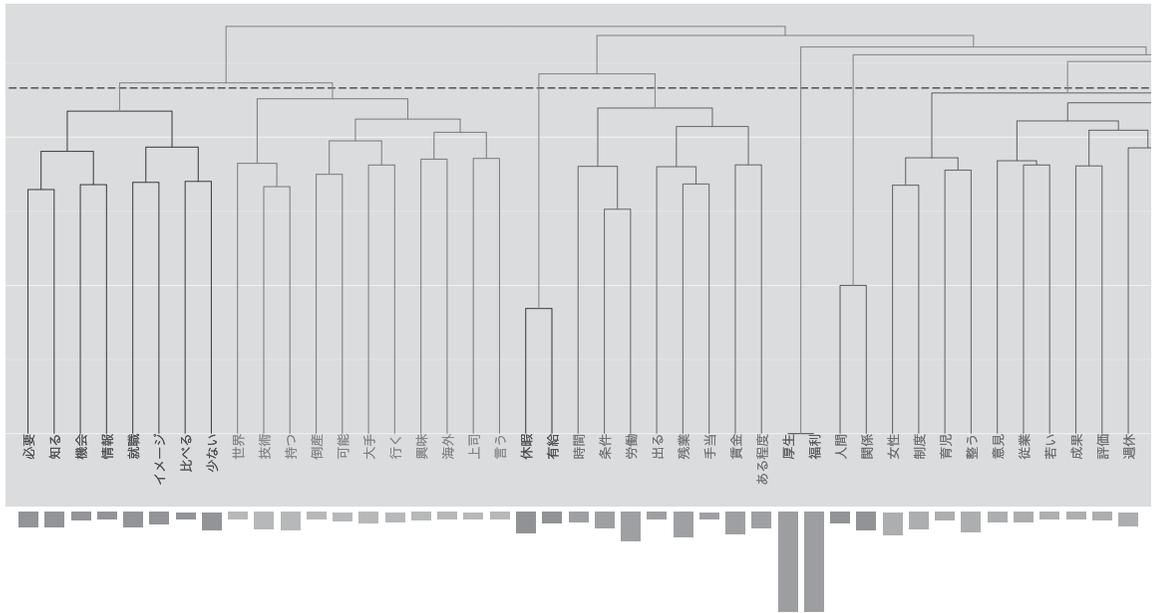
Ⅲ 分析方法

KH Coder を使い、自由記述の分析を行った。出現回数が多いが、分析には関係しないことが明瞭である「中小」、「企業」、「考える」、「思う」、「感じる」を分析対象から除外した。その結果、「総抽出語」の数は22,952(9,715)であり、「異なり語」の数は2,012(1,654)であった。ま

表1 抽出語一覧

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
厚生	224	必要	34	情報	16	教育	11
福利	224	事業	33	世界	16	個人	11
働く	177	内容	33	成果	16	雇用	11
給料	132	週休	31	地域	16	取る	11
自分	121	イメージ	28	倒産	16	特に	11
環境	116	年収	27	風通し	16	不安	11
仕事	104	社長	26	平均	16	保証	11
良い	100	有給	26	明確	16	アピール	10
安定	98	人間	25	ビジョン	15	キャリア	10
会社	86	大手	25	規模	15	バランス	10
人	79	求める	24	休日	15	ブラック	10
社員	69	意見	23	社内	15	楽しい	10
労働	65	時間	23	手当	15	気	10
成長	61	従業	23	上司	15	距離	10
将来	59	大きい	23	比べる	15	業界	10
残業	57	行く	22	アットホーム	14	今	10
職場	53	月	21	ネームバリュー	14	支援	10
雰囲気	53	社風	21	安心	14	自由	10
女性	51	可能	20	育休	14	取れる	10
高い	50	近い	20	産休	14	手取り	10
賃金	50	働ける	20	思える	14	十分	10
休暇	48	機会	19	大切	14	小さい	10
経営	47	興味	19	入る	14	分野	10
魅力	47	見る	19	年	14	明るい	10
多い	46	評価	19	理念	14	問題	10
整う	45	育児	18	活動	13	トップ	9
給与	44	収入	18	完全	13	ボーナス	9
関係	41	重要	18	合う	13	ワーク	9
持つ	41	言う	17	出世	13	違う	9
少ない	40	社会	17	知名度	13	休む	9
技術	39	若い	17	転勤	13	強い	9
充実	39	出る	17	独自	13	考え	9
制度	38	貢献	12	能力	13	大事	9
ある程度	37	今後	12	目	13	展開	9
休み	37	重視	12	シェア	12	認知	9
条件	36	初任	12	学生	12	与える	9
就職	35	土日	12	きれい	11		
知る	34	海外	16	活	11		

図2 階層的クラスタ分析の結果



「働く」, 「環境」, 「労働」を中心とした共起関係がみられた。また, 中心性とは共起関係は見られなかったが, 独自の共起関係もみられた。

②階層的クラスタ

階層的クラスタ分析を行った。語の最小出現数を15に設定した。また分析の方法はWard法であり, Jaccardの距離を1以上のものとした。

分析の結果, 9つのクラスタが導出された。結果を図示したものが, 図2である。

③共起ネットワーク分析と階層的クラスタ分析の整合性

共起ネットワーク分析と階層的クラスタ分析の整合性についてみると, 次の諸点を指摘することができる。

第1に, 福利厚生である。出現度合も極めて高い。

第2に, (福利厚生を除く) 各種制度の整備である。これには, 「休み」「週休」, 「整う」, 「女性」, 「育児」, 「制度」, 「意見」, 「年収」などの語が含まれる。

第3に, 労働時間に対する正当な待遇である。これには, 「労働」, 「残業」, 「手当」, 「条件」, 「時間」, 「ある程度」などの語が含まれる。

第4に, 有給休暇である。制度の整備などにも関連しているが, 第3の労働時間に対する正当な待遇との関連が強い。

第5に, 社内の労働環境である。これには, 「環境」, 「給料」, 「良い」, 「雰囲気」, 「風通し」, 「成長」, 「職場」, 「魅力」などの語が含まれる。

第6に, 事業内容の将来性および安定性である。これには, 「事業」, 「内容」, 「安定」, 「将

8つは、「社長距離」である。これには、「社長」、「距離」、「近い」の語を含めた。

9つは、「情報」である。これには、「情報」、「知る」、「機会」の語を含めた。

これら以外にも、コーディングして生成した用語と合わせて分析を行うために、頻出度合が比較的高い、「成長」、「将来」、「安定」、「環境」を分析対象に加えた。これらコード別の度数をみたものが、表2である。またコード間の類似度行列をみたものが、表3である。

以上のコーディングされたデータを基に、性別、学年別、大学別でそれぞれクロス分析を行った。

①性別クロス分析

性別でクロス分析をした結果を示したものが、表4である。

性別で統計的に差がみられたものとして、「女性特有」、「福利厚生」、「対価」、「社風」があげられる。いずれの項目も、女性の方が回答割合が高い。「女性特有」の回答割合が女性において高い理由は自明であろうが、それら以外の項目についての理由については、さらに検討を進めていくことが必要である。「社長距離」や「成長」においては男性の方が回答割合が高いが、女性との差は統計的に確認できなかった。

表2 コード別にみた度数

コード	度数	割合
対価	259	40.79%
労働	198	31.18%
福利厚生	218	34.33%
休暇	114	17.95%
有給休暇	26	4.09%
社風	69	10.87%
成長	55	8.66%
将来	55	8.66%
女性特有	63	9.92%
社長距離	38	5.98%
安定	89	14.02%
情報	46	7.24%
残業時間	68	10.71%
環境	106	16.69%
コード無し	71	11.18%
(文書数)	635	

表3 コード間の類似度行列

	対価	労働	福利厚生	休暇	有給休暇	社風	成長	将来	女性特有	社長距離	安定	情報	残業時間	環境
対価	1.000	0.219	0.259	0.180	0.059	0.093	0.064	0.079	0.081	0.031	0.184	0.089	0.097	0.151
労働	0.219	1.000	0.150	0.123	0.042	0.056	0.100	0.077	0.145	0.063	0.117	0.085	0.113	0.273
福利厚生	0.259	0.150	1.000	0.165	0.043	0.091	0.058	0.075	0.115	0.036	0.125	0.035	0.059	0.125
休暇	0.180	0.123	0.165	1.000	0.228	0.089	0.012	0.037	0.196	0.063	0.091	0.039	0.159	0.100
有給休暇	0.059	0.042	0.043	0.228	1.000	0.080	0.013	0.025	0.072	0.032	0.036	0.029	0.119	0.031
社風	0.093	0.056	0.091	0.089	0.080	1.000	0.088	0.033	0.056	0.059	0.097	0.075	0.087	0.101
成長	0.064	0.100	0.058	0.012	0.013	0.088	1.000	0.089	0.044	0.081	0.075	0.031	0.042	0.103
将来	0.079	0.077	0.075	0.037	0.025	0.033	0.089	1.000	0.035	0.033	0.116	0.020	0.034	0.073
女性特有	0.081	0.145	0.115	0.196	0.072	0.056	0.044	0.035	1.000	0.052	0.048	0.019	0.083	0.134
社長距離	0.031	0.063	0.036	0.063	0.032	0.059	0.081	0.033	0.052	1.000	0.024	0.024	0.019	0.043
安定	0.184	0.117	0.125	0.091	0.036	0.097	0.075	0.116	0.048	0.024	1.000	0.063	0.047	0.102
情報	0.089	0.085	0.035	0.039	0.029	0.075	0.031	0.020	0.019	0.024	0.063	1.000	0.009	0.041
残業時間	0.097	0.113	0.059	0.159	0.119	0.087	0.042	0.034	0.083	0.019	0.047	0.009	1.000	0.074
環境	0.151	0.273	0.125	0.100	0.031	0.101	0.103	0.073	0.134	0.043	0.102	0.041	0.074	1.000

表4 性別クロス分析

	対価	労働	福利厚生	休暇	有給休暇	社風	成長
男性	149(37.44%)	124(31.16%)	115(28.89%)	64(16.08%)	13(3.27%)	35(8.79%)	40(10.05%)
女性	110(46.61%)	74(31.36%)	103(43.64%)	50(21.19%)	13(5.51%)	34(14.41%)	15(6.36%)
合計	259(40.85%)	198(31.23%)	218(34.38%)	114(17.98%)	26(4.10%)	69(10.88%)	55(8.68%)
カイ2乗値	4.786*	0	13.639**	2.284	1.367	4.251*	2.107

	将来	女性特有	社長距離	安定	情報	残業時間	環境	ケース数
男性	33(8.29%)	11(2.76%)	28(7.04%)	48(12.06%)	23(5.78%)	39(9.80%)	63(15.83%)	398
女性	22(9.32%)	52(22.03%)	10(4.24%)	41(17.37%)	23(9.75%)	29(12.29%)	43(18.22%)	236
合計	55(8.68%)	63(9.94%)	38(5.99%)	89(14.04%)	46(7.26%)	68(10.73%)	106(16.72%)	634
カイ2乗値	0.09	59.337**	1.592	3.039	2.9	0.716	0.449	

表5 学年別クロス分析

	対価	労働	福利厚生	休暇	有給休暇	社風	成長
1年生	1(20.00%)	1(20.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)
2年生	10(40.00%)	8(32.00%)	5(20.00%)	6(24.00%)	1(4.00%)	4(16.00%)	1(4.00%)
3年生	199(41.98%)	135(28.48%)	177(37.34%)	86(18.14%)	19(4.01%)	49(10.34%)	40(8.44%)
4年生	43(38.39%)	51(45.54%)	32(28.57%)	18(16.07%)	5(4.46%)	14(12.50%)	12(10.71%)
5年生	5(35.71%)	3(21.43%)	4(28.57%)	3(21.43%)	1(7.14%)	1(7.14%)	1(7.14%)
6年生	1(33.33%)	0(0.00%)	0(0.00%)	1(33.33%)	0(0.00%)	1(33.33%)	1(33.33%)
7年生	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)
合計	259(40.85%)	198(31.23%)	218(34.38%)	114(17.98%)	26(4.10%)	69(10.88%)	55(8.68%)
カイ2乗値	2.352	15.083*	10.734	2.807	0.763	3.616	4.225

	将来	女性特有	社長距離	安定	情報	残業時間	環境	ケース数
1年生	0(0.00%)	0(0.00%)	1(20.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	5
2年生	4(16.00%)	6(24.00%)	1(4.00%)	2(8.00%)	2(8.00%)	4(16.00%)	8(32.00%)	25
3年生	36(7.59%)	42(8.86%)	26(5.49%)	72(15.19%)	31(6.54%)	48(10.13%)	70(14.77%)	474
4年生	14(12.50%)	15(13.39%)	9(8.04%)	14(12.50%)	12(10.71%)	15(13.39%)	25(22.32%)	112
5年生	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	1(7.14%)	1(7.14%)	1(7.14%)	2(14.29%)	14
6年生	1(33.33%)	0(0.00%)	1(33.33%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	1(33.33%)	3
7年生	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	1
合計	55(8.68%)	63(9.94%)	38(5.99%)	89(14.04%)	46(7.26%)	68(10.73%)	106(16.72%)	634
カイ2乗値	8.662	10.17	7.9	3.517	3.077	3.005	9.872	

②学年別クロス分析

学年別でクロス分析をした結果を示したものが、表5である。学年別で統計的に差がみられたものとして、「労働」があげられる。4年生での回答割合が最も高い。しかし、学年別のデータは、学年別にサンプル数に明確な違いがあるがゆえに、サンプル数が多い3年生と4年生に対象を限定し、再度分析を行う必要があらう。

③大学別クロス分析

大学別でクロス分析をした結果を示したものが、表6である。大学別で統計的に差がみられたものとして、「情報」、「安定」、「将来」、「対価」があげられる。これらの項目において回答割合

表6 大学別クロス分析

	対価	労働	福利厚生	休暇	有給休暇	社風	成長
同志社大学	95(48.22%)	72(36.55%)	60(30.46%)	38(19.29%)	10(5.08%)	28(14.21%)	21(10.66%)
A 大学	5(50.00%)	1(10.00%)	3(30.00%)	1(10.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)
B 大学	159(37.24%)	125(29.27%)	155(36.30%)	75(17.56%)	16(3.75%)	41(9.60%)	34(7.96%)
合計	259(40.85%)	198(31.23%)	218(34.38%)	114(17.98%)	26(4.10%)	69(10.88%)	55(8.68%)
カイ2乗値	7.086*	5.454	2.126	0.711	1.04	4.196	2.203

	将来	女性特有	社長距離	安定	情報	残業時間	環境	ケース数
同志社大学	32(16.24%)	21(10.66%)	12(6.09%)	48(24.37%)	34(17.26%)	20(10.15%)	42(21.32%)	197
A 大学	2(20.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	1(10.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	1(10.00%)	10
B 大学	21(4.92%)	42(9.84%)	26(6.09%)	40(9.37%)	12(2.81%)	48(11.24%)	63(14.75%)	427
合計	55(8.68%)	63(9.94%)	38(5.99%)	89(14.04%)	46(7.26%)	68(10.73%)	106(16.72%)	634
カイ2乗値	23.471**	1.223	0.648	25.265**	42.617**	1.388	4.503	

に差がみられたことについて、今後検討を深めていく必要がある。しかし、大学別のデータは、大学別にサンプル数に明確な違いがあるがゆえに（A大学のサンプル数が10しかない）、サンプル数が多い同志社大学とB大学を対象を限定し、再度分析を行う必要があろう。

V 小 結

本稿では、中小企業を念頭に置き、中小企業で働くという求職側の人材、とくに、学歴別、とりわけ大学生を対象に筆者が実施した、大学生が卒業後に中小企業で働く際に求めることにかかる調査から得たデータを分析することを目的とした。その結果は、すでに示したとおりである。

本稿の内容は、筆者が独自に調査した内容に基づき、分析方法、分析、その結果を示すことにとどめている。これは、分析方法や分析それ自体において多くのやり残された諸点があるが、中小企業が直面する人材の採用問題という社会的課題の要請に応じていく必要性が高く、本稿でとりあげたデータそれ自体の資料的価値が非常に高いと考えるためである。

本稿の学術的位置づけはもちろんのこと、本稿で得られた分析結果の解釈や学術的意義の導出などについて、また、本稿での分析から導出された結果が、データの基になる記述に具体的にどのように体现されているかについては、今後さらに検討を加えたいとて別稿にて示すことにしたい。

以上

別表 大学生が中小企業で働く際に求めること

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	3	1	私は仕事内容や雰囲気が合っているか（というよりも、企業様に即しているか）を重視しているので、ネームバリューはあまり気にしていません。そのため、マッチする企業があれば入社したいです。しかし、そもそも中小企業や BtoB の会社が学生から認知されていないため、見つけられていないのだと思います。どうしても自分が知っている限りの企業しか選択肢にならないので、まずは認知されるところからだと思います。そのため要件はないかもしれませんが。
同志社大学	3	1	利益より若い人材の育成、社会への貢献をする意欲。 グローバル化が進むなか、国内市場と海外進出の同時進行、あるいは行き詰まる国内市場より海外市場の開拓、いわゆる海外に目を向き、戦う意欲。 若い社員をただ上司の指示に従わせて、働かせて利益を上げる道具とするのだけでなく、逆に若い人、優秀な人材に考えさせ、課題を与えて、彼らの知識力によって会社の知的能力を向上させる意欲（知識を得て、学習の意欲）。 成果主義、年齢、性別に関係なく、適切に人を評価する。
同志社大学	4	2	賃金と福利厚生が一般的に知られている企業と大きく違ってないことが第一条件と考える。企業の規模が違うので、多少の違いは出て然りと思うが、あまりにも違うと、たとえ魅力的な職場でも働こうとは思えない。職場や社員、事業に魅力があると自負している中小企業こそ賃金と福利厚生をどうにかしてくれれば、「働きたい」と思う人も増えると考ええる。
同志社大学	4	2	難しいのはわかりますが、大企業に劣らない給与がいただければ就職したいです。そもそも中小企業の情報が少ないため、ほとんど知らないです。もっと情報があれば就職したいと思っていたかもしれません。 中小企業に対して残業代が出なさそうなイメージがあります。（大企業でもきちんと出ていないところがあるため）どんなに激務でも適切な残業代が出るのであれば、就職したいと思います。
同志社大学	3	2	将来性 福利厚生 （これはどこの会社でもいえるけど）社員の人の人柄、社長の考え方
同志社大学	3	2	安定性。 大企業より規模が小さいことを生かして職場内のコミュニケーションをさかんにとり、それぞれの意見が全員に認知されやすい環境。 休日、就業時間などはしっかり守ってくれる。
同志社大学	3	2	活気のある職場 社員全員のやる気がある 会社が成長する可能性がある 若い社員、一人一人の意見が尊重される がんばりが評価される ある程度自分のやりたいことをやらせてもらえる
同志社大学	3	1	ニッチな産業でも日本、世界で有名なことを行っている企業 福利厚生が日本の会社の平均程度整っている企業
同志社大学	3	2	安定した収入 倒産しないだけの資本、技術 わかりやすい PR（知る手段が少ない）
同志社大学	3	1	独自性のある事業 そこで働く人、風土 会社の成長性 給料 自分のビジョンと会社のビジョンとの一致
同志社大学	3	2	大企業と変わらないくらいの給料 将来その企業がつぶれないかという不安がない企業 将来性があり安定している企業 労働環境が悪くないこと 1人1人の責任が重すぎない
同志社大学	3	1	安定した収入 福利厚生 成長できる環境 社員の雰囲気
同志社大学	2	1	給与の充実 労働環境の良さ 雇用形態の良さ 将来性、持続性のある企業

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	2	1	給与の向上 仕事内容をもっと世間に出していく 社会保険の充実 労働環境の充実
同志社大学	2	1	経営理念が自分に合う (社会貢献, 地域に根付いている会社)
同志社大学	4	2	福利厚生が充実 これからの展望が明るい (新しい事業に取り組んでいたり, 環境にやさしい取組をしていたりなど)
同志社大学	3	1	経営の中核であったり, 会社の重要なポストを占めることが将来可能でありそうで, なおかつ金銭的にもそこそこ恵まれれば, 大企業の下っ端で働くよりかははるかに魅力的に見える
同志社大学	3	1	高給 福利厚生が良い 職場の空気が良い (雰囲気) 休みが多い 独自の技術がある 出世しやすい
同志社大学	3	1	仕事のスケールの大きさ 給料の大きさ 知名度 魅力がありそうな技術 自分の性格に合った雰囲気 魅力, わくわくさせてくれるような雰囲気づくり
同志社大学	2	2	休みがしっかりとれる (有給休暇含む) 多くの企業と交流が図れる サービス残業がないこと 職場スペースにゆとりがあること (狭い, 個人スペースがある)
同志社大学	2	2	仕事をやるうえでやりがいを感じられる 働くうえで職場の環境は大事であると思う。したがって, 一緒に働く人の人柄も大事だと思う。中小企業が具体的にどんな仕事をしていて, どういった面で役に立っているのかといったことを, 企業側からもっと伝えてほしいと思う。
同志社大学	3	1	保守的なイメージが中小企業にはあるので, 挑戦する姿勢をもっと広く周知していくこと。 ワークライフバランスも大企業は積極的に取り組んでいるが, 中小企業のワークライフバランスがどのようなものかわからない。だからそれがわかるともっとよい。
同志社大学	3	1	会社を安定させる, 存続させるためなら, どんな方法でも試すような柔軟な思考をする雰囲気。成長志向が強いこと。 自らの腹を切ることをいとわない社長または幹部がいる。
同志社大学	2	2	自分の興味のある分野だったら企業にも興味がでる。 サポートがしっかりある (子育て支援, 育休など)。 休みがしっかりとれる (たまに休日出勤はあるかもしれないが, 毎週ないこと)。
同志社大学	3	1	中小企業jの会社の雰囲気や自分が成長できる条件が整っている説明がほしい
同志社大学	4	2	大企業にないまた世間一般ではない特徴的なビジネス, 仕事を行っている企業 女性に対する育休・産休制度が整っている企業 (仕事に復帰しやすい企業)
同志社大学	3	1	安定した収入と雇用保障が主に必要であると考えている。またそのうえである程度の知名度として代表的な物が企業に存在すればより行きたくなると考える
同志社大学	4	1	はっきりとしたインセンティブ 報酬 成長環境 興味をひく, もしくは将来性を見込める事業内容
同志社大学	3	1	きれいな職場 高給 楽しい職場 やる気に満ちた職場
同志社大学	4	1	ニッチな分野でもいいので世界と戦えるような技術力 努力すればその企業のトップに立てるような仕組 経営トップとの距離の近さ
同志社大学	3	2	労働条件 (休暇, 給料, 福祉)

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	4	1	労働体制がしっかりしているのは必要なと思ったのですが、入ってみたいとわからないですね。また、その企業が持つサービスや商品などが独自の技術があり、成長性があるかどうかも条件としてほしいと思います。どこの地域にあって、自分の住んでいるところから近いかどうか少し重要なと思いました。
同志社大学	3	2	福利厚生がしっかりしていて、給与がそこそこよかつたら行こうと思います。
同志社大学	3	1	人間関係で問題がない 従業員全員の意見を上司の人も含め聞いてくれること 出世ができ、つぶれないこと
同志社大学	2	2	福利厚生 あたたかい職場 ホワイトな経営をしているか
同志社大学	3	1	ある程度の給料があり、福利厚生がしっかりしている
同志社大学	4	1	将来性がある（伸びしろ、つぶれない保証） 安定している 仕事と人のバランスがマッチしている 風通しが良い
同志社大学	2	2	しっかりした福利厚生
同志社大学	3	2	土日が休み 収入が安定 働きがいがある 社員満足度が高い いろいろな企業とのかかわりが多い 若い世代の人が活躍できる
同志社大学	3	1	会社のイメージが良い 安定感がある
同志社大学	5	1	市場で高いシェアを誇る製品 満足できる給与体系・福利厚生 充実した研修制度 職場の衛生面、活気 新卒採用に力を入れているか（説明会の日数、専用 HP）
同志社大学	3	1	給料 労働者を大切に（労働時間が長すぎない）ことや、有給休暇、休日がしっかり与えられることなど その企業に将来性があること
同志社大学	4	2	安定 待遇 将来性 資金
同志社大学	4	1	魅力的な事業をしているか 賃金もある程度あった方がいい
同志社大学	2	1	給与や福利厚生が充実していて、自分がやりがいを感じられる職務内容であること。
同志社大学	4	1	向こう5年、10年のビジョンがしっかりある 労働環境、福利厚生が最低限整備されている 業績が黒字 大企業にない魅力があるかどうか
同志社大学	4	1	将来的にしっかり家庭を安定させることができる賃金。労働環境の状態（有給休暇はしっかりとれているのか、残業の量は、社員間の交流、職場の雰囲気など）。
同志社大学	5	1	福利厚生の充実 企業としてのビジョン つぶれないという安心感
同志社大学	4	2	社風が自分に合っていること（雰囲気が明るい、チームワークが良い） 安定した雇用が期待できる 年功序列がない（きちんと評価してもらえる） 教育制度がしっかりしている 休みなどがきちんととれる
同志社大学	5	2	子育てしやすい環境 福利厚生が整っている

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	2	2	まず学歴や年齢でなく、応募者がどのようなことを今までなしてきたのか、適性はどのようなものがあるのかで判断するようにプレゼンをする機会などを与えてほしい。大学へはいろいろな事情でいろいろな経歴や年齢の人間がいるのが当たり前なのに、いくら勉強やアイデアをためても、経歴や年齢がいわゆる「普通」でなければ、就職などはなからあきらめているのが現状である。優れた企業理念と胸を張れる体制があるのなら、まず就職を希望する者に対してその者が自らの資質をアピールして、それによって判断される機会がほしい。
同志社大学	3	2	十分な給与と休みが確保され、福利厚生がきちんととなされているという信頼があれば、中小企業にも興味をわくと思います。
同志社大学	3	2	休みがきちんととれて、給料もほどほどにあれば目が惹かれると思う。あと、自分のアイデアが言いやすい環境である職場が良いと思います。
同志社大学	3	2	充実した福利厚生 風通しの良い社風
同志社大学	3	2	有名になる 給料が高い 労働環境が良い 残業がない これからどんどん成長する
同志社大学	3	2	転勤が少ない 地元で貢献できる 生活できる最低限の賃金がもらえる
同志社大学	3	2	土日祝が休みであること 女性が働きやすい環境が整っている(育児休暇) 安定的に給料がもらえる
同志社大学	3	2	社員が少ない分、責任ある仕事を任せてもらえると思うが、その分だけ一人ひとりの負担が大きくなるので、効率的な仕事配分が必要。中小企業はどうしても規模が小さくなっているため、特許を持っているなど安定とつぶれないという信頼感をつくる必要があると思った。
同志社大学	3	1	他の企業にはない強みがある企業。たとえば特許をたくさん持っているなど、この先も継続的に利益を出せる見込みがある中小企業なら働く価値はあると思う。
同志社大学	4	2	そこでしかできないものがある 給料 福利厚生 つくっているもののシェアが高い
同志社大学	2	1	高いレベルのチームワーク、社内の良い雰囲気(規模的に人と人の距離が近くなるため) 独創性(その企業でしかできないこと) 業務の有意義性
同志社大学	4	2	社員を大切に扱うこと。中小企業は労働時間が長いわりに給料も安くボーナスもなしがごく安い。また、体質が古く、産休などがとりづらいなど女性が働きにくいイメージがある(もちろん優秀な中小企業もあると思うが)。なので大企業並みは無理でも社員を尊重するような体制をきちんとつくり、そしてアピールすることが重要だと思う。
同志社大学	3	1	勤務地の交通機関 生活するにあたって必要最低限の給与
同志社大学	3	1	財務諸表をすべての中小企業で公開してほしい
同志社大学	4	2	大企業と同レベルの福利厚生 将来性がある 人数が数少ないからこそ社内の雰囲気や風通しの良さを重視
同志社大学	3	1	確固たる他社にはない技術力、自社の製品にどれだけ自信をもってその会社にはどんなビジョンがあるのか。入社後のきちんとした教育。いきなりノルマを求めるのではなく、1~2年は大目に見るぐらいの余裕。どんな仕事ができるかははっきりさせること。きちんとした福利厚生。
同志社大学	4	1	目を向けてもらうための手段 中小企業に大企業並みの賃金は望めないで、それを補う魅力(内容、やりがいなど) 将来性、経営基盤がしっかりしている、いろいろ試行できる環境 長期的な経営方針をもっている
同志社大学	4	2	大企業と比べて福利厚生がしっかりしていないイメージがあるので、中小企業のなかでも、NASAとか世界的に有名な企業に部品を提供している素晴らしい技術があったとしても就職することがはばかられてしまう。
同志社大学	3	2	福利厚生がしっかりしている 労働条件が良い 給料が安定している 自分のやりたいことができる

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	3	2	福利厚生がきちんと考えられていて、希望の地域で就職することができる企業に魅力を感じます。また、残業が毎日続いてしまうようなことのないよう対策されているとよいと思います。
同志社大学	2	2	アットホーム感 自慢できるもの、商品がある 給料とかの制度がきっちりしている やりがいのある仕事、仕事内容がわかる、自分がやっていることが成果にどうつながるのか見えること
同志社大学	3	2	福利厚生 ブラックでない 倒産しない
同志社大学	3	1	将来性 労務以外でのさまざまな保証・制度 組織風土 賃金 人材育成制度
同志社大学	2	2	今までにない斬新なアイデア 自分が企業に積極的に参画できるシステム 海外展開の見込み
同志社大学	3	2	最低限の生活ができる程度の給与と休暇 親を安心させられる企業の成果（ブランドや売上など） 働いている人が一緒に働きたいと思うようないい人
同志社大学	3	2	賃金の安定と経済的に安定しているという保障
同志社大学	3	2	大企業では最近ブラックと言われているところが多いので、そうではなく社員の労働環境をしっかりと整えている企業。福利厚生をしっかりとしてほしい。
同志社大学	3	1	安定していて、この先何十年も安心した給料をもらうことができるということがわかるなら、働きたいと思う。 休みがしっかりしている。
同志社大学	3	1	知名度を上げること。中小企業についての情報を仕入れる機会が必要だと思う。名の知らない中小企業か大企業の二択ならば大企業を選んでしまうと思う。
同志社大学	5	1	地元根付いているかどうか 〇〇で働いているという名前が近所の人に知られているか
同志社大学	5	1	安定した十分な賃金 その企業にしかない専門性 福利厚生 企業全体が一丸となっている雰囲気 扱える仕事の大きさ、影響力
同志社大学	3	2	ある程度の安定を求めるため、企業の将来性 労働環境の安定（特に女性に対する待遇） 給与の安定
同志社大学	3	2	安定した給料・ボーナス（大企業ほどでなくても4大卒の平均くらいはほしい） 倒産しないという安心感（ぎりぎりで行っているような会社は怖い、福利厚生もしっかりあってほしい） 若い人が多く明るい雰囲気（結婚したいので若い人が多い方がいい。明るく楽しそうなら魅力がある）
同志社大学	3	1	大企業では給料が高い分、福利厚生がしっかりしていないところがあるため、中小企業にそれを求める。
同志社大学	2	1	高い給料という条件が第一の条件です。残業代もしっかり出て、休みをとれるいわゆるホワイト企業がいいと思います。また将来性のある企業が良いです。
同志社大学	6	1	ブラックでない 社長が信頼できる 将来性がある 仕事を任せられる 客観的に評価されている
同志社大学	4	2	大手に行けば休みが多かったり、給料が良かったり、大手を探すことが多い。なので、中小企業でも休みをしっかりとれたりして、福利厚生が整っていることが条件である。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	2	1	大規模な企業のように多数で見るのではなく、個人として尊重する社風 大企業と同等の賃金、終身保証 これからの産業界で生き残っているだけの技術や特許を持っていること
同志社大学	2	2	将来性が不透明なので、現在、そして今後何をしていくのかなど具体的なことを知りたい。労働条件や女性にとって働きやすいかどうかを知りたい。今働いている人の賃金や仕事内容を知りたい。
同志社大学	3	1	勢いがある、将来性があること。給料も平均以上はほしいと思う。あとは企業の方々の人柄によると思う。自分と合うかどうかというところ。
同志社大学	3	1	明確化された労働条件(残業の程度、休みが実際にどれくらいあるのか) 福利厚生(住宅手当などの補助があるのか)の達成されている実績、透明化された経営状況
同志社大学	2	1	今現在の安定や福利厚生、知名度より、これからの未来を見据えた業務内容が重要だと思います。AI, IoT, ビッグデータなど、どのような業種でもITに強く、学生がおもしろいと思えるようなシステム、構造が大事だと思います。メガベンチャー、ユニコーン企業のやり方を習えればと思います。
同志社大学	3	1	中小企業は不景気になると小さい経営規模のため、会社が倒産してしまうリスクが大企業よりも高いイメージがある。私は中小企業がどれだけ自分たちが優良企業であるか、給料は大企業と同じかそれ以上、自分たちが入社したらどのように会社で使われるのかをしっかりと説明され、納得できるのであれば、名前が知られていない企業であっても入社したいと考える。
同志社大学	3	1	数年後、数十年後も安定した収入があると確実に言える中小企業があれば特に問題ない。
同志社大学	2	1	従業員数が比較的に少ないことから、若い段階から出世できる環境があればよいかなと思います。もしあるのであれば、もっと発信してほしいです。
同志社大学	4	1	四季報にあるような詳しい情報提供 ニッチな分野で安定した実績がある 働きに合った報酬があるか 社内の雰囲気 社員と会って話せる機会があるかどうか
同志社大学	4	1	就職活動をしているが、必ずしも知名度や大企業を選んでいるわけではない。企業に求めることもあまりない。自分の将来したいことに合うものを優先的に選んでいる。小さいも大きいも関係ない。多角化という発想もあるが、それは結局目的を失うであろうからよくないと思う。
同志社大学	3	2	経営の安定性 福利厚生 労働条件(長時間労働をさせられない、完全週休2日)
同志社大学	4	2	労働環境が整っている(人、賃金、労働時間)、またその会社がどういう方向性を向いていて、何のために存在しているのか、その存在意義を明確にしているところに行きたいと思います(熱くあってほしい)。
同志社大学	3	2	「知られている」というネームバリューだと思います。多くの学生は「大手病」になってしまいがちで、私もその1人です。やはり、ネームバリューは欠かせないと思います。次は「安定」だと思います。自分がまだ働ける段階で、倒産してしまうのではないかと、という不安が私にはあります。このような不安を取り除いてくれる数値的な根拠が必要だと思います。
同志社大学	3	1	経営の安定性 大企業並みの給料
同志社大学	3	1	十分な賃金と待遇 労働環境の充実
同志社大学	3	2	将来性があるかどうかがとても重要なところだと思います。おそらく私たちが大企業に入りたいがるのは、企業の安定性があるからこそであり、だから財務諸表を見たり、日経を読んで、ここは10年先も20年先も大丈夫だろうという判断をするのだらうと思います。なので、安全性、安定した企業であるというアピールがあれば、候補になるのではと考えます。
同志社大学	3	1	高水準の給与 事業内容の規模の大きさ 企業としての安定性
同志社大学	3	1	知る機会が少ない、何をしているのかがわからないため、情報の検索をすればいいのだからがする気にならない。 社風、人のあたたかさ、働きやすい環境。何より賃金が大手よりも安いという偏見をもっているため、多い方がうれしい。
同志社大学	4	1	中小企業は大企業に比べてネームバリューが劣ってしまいがち、成長段階であるがゆえの成長性であったり、少人数制ならではの上司と部下の風通しの良さ、自らがやってみようことに対して、挑戦できる環境があれば、私は大変興味を持つと思います。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	3	2	一番考えることは、この中小企業の存続性です。長く存在できる中小企業は自らが安心できます。仕事環境です。楽な雰囲気で作る気が出ます。出世の機会があるかどうか。賃金、福祉などの経済的なことです。
同志社大学	2	2	施設が整っていることです。働く環境が良ければ仕事ははかどります。女性にとって働きやすい労働条件があることです。たとえば産休がなければ結婚後のことを考える私たち女性にとってそのような制度がなければそのような企業は避けてしまいます。
同志社大学	4	1	労働条件が良い中小企業です。完全週休2日制か、有給休暇を消化させてくれるならば、多少賃金が低くても就職したいです。そして中小企業の求人情報はなかなか就職支援サイトに出てこないで、多少お金がかかっても広告費は大きくとった方がよいと思います。
同志社大学	3	1	中小にせよ大手にせよ、最低限の賃金が保証されていること。同じ条件で中小に入るとするのであれば、今後の企業の見通しがある程度ははっきりしていること、転勤が少ない（ない）ということが必要。
同志社大学	3	1	福利厚生や給与が良いという条件があれば良いと思う。また中小企業というのは、仕事内容が激務で休みが少ないと認知されているように思えるので、もっと認知されるというのが大事だと思う。
同志社大学	3	2	中小企業は大企業と比べて賃金が低いと考えられているので、賃金がより高くなれば、中小企業に目を向けるようになると思う。さらに長期で働き続けることができる環境もあれば、よりいっそう目を向ける。
同志社大学	3	2	福利厚生、女性の働きやすい環境（育休がとりやすい雰囲気かどうかなど）、職場が小さいからこそ、そこ人間関係の良さなどがそろっていて、安定していること。賃金の高額は求めないが、各種手当や制度がそろってほしい。
同志社大学	3	2	多くの方が大量生産しているイメージがあるため、「自分」を必要としてくれる、「自分」として認めてくれるような企業であり、またそういう関係をつくれる信頼できる人がいる企業。将来の保障がかたいところ。
同志社大学	4	1	中小企業で給料が良くて定年まで働ける環境があれば、就職先の候補としてあげられる。私は安定力を最重要視するので、その安定力が中小企業にしっかり備わっていることが必要だと考えているし、もっと中小企業を知る機会を増やせば魅力ある企業の1つとして選択肢にもなる。
同志社大学	3	2	福利厚生の厚さ 全国に支店のある企業でも住宅補助のないところが多く、将来の暮らしを心配してしまう。よく就活HPを見るのですが、内定者が6~10人のところをよく目にし、人数の少なさから受かるのか、同期が同じ支店にいないのではないかと不安を感じる。
同志社大学	5	1	面接時に休みや給料をしっかりと教えてくれる。その企業に成長の見込みがある点について話してくれ、自分の成長もできるなと感じさせてくれること。がんばって結果を出せば成果がわかるようならさらにいい。
同志社大学	3	1	ブラック企業でなく、自分の興味のある業界で、ある程度大きな仕事を任せてもらうことができること。大企業のように歯車の一部という感覚ではない企業。福利厚生がしっかりしている。
同志社大学	3	1	その会社独自の技術です。それも今後発展しそうな夢のある分野の一端を担う技術があることです。たとえば、宇宙開発や海底調査、リアモーターカーなど。
同志社大学	3	2	そもそも私たちは知らない中小企業がたくさんあるので、まずはどんな魅力的な中小企業があるのかわかりたい（もっとアピールしてほしい）。個人的には従業員同士の仲が良く、承認欲求が満たされて給料も休みもそれなりにくれるところが良いです。たぶん大企業に入る人もみんな「安定」を求めているのではないかと思います。
同志社大学	4	1	中小企業に必要なものは、確立した地位があるところだ。実際に就職活動で「実は業界でNo.1シェアを持っている」と言っていた中小企業はとても魅力を感じた。理由は安定しているからという部分が多い。業界においてリーディングカンパニーならば倒産する可能性も低いからだ。
同志社大学	4	1	今後のその企業の成長性や安定感に関するデータなどがあって、それに説得力があれば、世間の知名度がなくても働きたいと感じます。また中小企業には自分の声が届きやすいのではという期待があったので、風通しの良さが伝わればさらに働きたいと感じます。
同志社大学	3	1	実際に不動産にかかわる中小企業に行くことがすでに決まっています。なぜそこに行くことにしたかと言うと、尊敬できる先輩、つまり入社後は尊敬できる上司がいるからです。たとえ大企業に行っても、給料が高いわけでもないし、上司を選ぶこともできません。中小だからと言って、給料が安いわけでもないし、むしろ高くなるかもしれません。それならば、人で働くところを決めたいと思いました。だから中小企業にはより人と触れ合う機会を増やし、就活生にもっと身近に感じさせることが必要だと思います。
同志社大学	4	2	福利厚生や給与などの明確な提示 インターンがあるかどうかのような企業であるかわかりやすいと思います。 通勤しやすいか否か 中小企業であることに自信ある企業 中小企業は男性が多いイメージなので、女性が増えると働きやすいと思います。男性が多すぎる企業で働くのは不安です。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	4	1	中小企業はやはり大企業と比べて企業の安定性・健全性に欠ける部分がある。多少のことで崩れてしまうイメージがどうしても先行してしまう。また、従業員が集まらなく少ないという現状では、給料の割に労働時間が長い、仕事が多いと一人当たりの労働力が多くなるのではないかと考える。
同志社大学	3	2	中小企業はやはり不安定で1人あたりの負担も大きい企業が多い。そのためそういった企業で働く場合は、その会社の経営者を重点的に見て、働きがいのある会社を大切にす。
同志社大学	4	1	中小企業に魅力を持つ、視線を向けるには、やはりネームバリューがまず必要と思う。中小企業の魅力として、自分的には少人数で常にと接することが大企業とは違う魅力だと思う。けれど、それが視線を向ける理由ではなく、働いてみて思うことだと考えているから、中小企業を視野に入れることが少ないのではないと思う。
同志社大学	4	2	大企業にはない魅力は、独自の技術、社員や管理職との距離の近さ、一人の仕事の重さがやりがいになる。 説明会で社長自らが思いを語ってくれる企業は記憶に残った。これは大企業にはできない。私は就活で食品メーカーを主にみていて、小さな企業でも私が好きな食品を取り扱っている企業は気になった。
同志社大学	3	2	アットホームさ 知る機会が少ないので、大学でももっと説明会をしてほしい 安定
同志社大学	4	2	手厚く、珍しい福利厚生がある 女の人の働きやすい環境がある 他社にはない強みがある
同志社大学	4	2	アピールできる技術を世の中に発信すること(具体的に)。発信方法として、SNSは不可欠だと考えます。 働く環境を整えること。イメージとしてなかなかお休みがとれないということががあるので、これを含めて発信する必要がある。やりがいだけではだめな気がする。
同志社大学	4	1	海外展開しているか。 社員さんたちの1人1人が明確な目標をもって仕事をしているかどうか。 しっかりと働いていれば出世できるかどうか。仕事をきちんとしていれば、認めてくれるような環境。
同志社大学	4	2	社員の雰囲気が良いこと。大企業のように決して給料が良かったり、社員の数が多いいわけではないため、職場で関わる人との関係が良好であること、仕事以外での楽しみも見出すことができるかが重要になると思う。
同志社大学	3	2	技術力世界1位や、〇〇の部品シェア1位など、知られていないけど、じつは世界に誇れるアピールポイントがある企業 これからも需要が見込め、倒産の危機などないような将来性のある企業 働きやすい企業
同志社大学	2	1	将来性(これからさらに成長していくかどうか) 安定性(自分が退職するまで安定して存続する企業かどうか) 労働条件(給与が高いかどうか、福利厚生が充実しているか)
同志社大学	3	2	福利厚生(給料や有給休暇、育児休暇など) 社長の人柄、性格 従業員の平均年齢(若いと不安)
同志社大学	3	1	ブランド力が必要だと考えます。初対面の方に「同志社大学の・・・」という、「賢いね」と言われ、ブランドの大切さを身に染みて実感しました。中小企業のなかでも世界に誇れる技術力があるのは十分に承知しています。しかしそのすばらしい技術が世の中に知られていないので、私はもっとアピールするべきだと思います。
同志社大学	3	2	就活に向けてリクナビ、マイナビをよく見ますが、中小企業を見る機会がないので、ほとんど情報がありません。ネームバリューがあるのとないのでは大きな差があると思います。私は、安定した給与と有給休暇などの取得率は大切だと思います。あとはオフィスがきれいかや職場の雰囲気も気になることです。
同志社大学	4	2	過剰過ぎない福利厚生 グローバルに働けるフィールド 大企業よりも成長できる機会や仕事内容 魅力的な社員、会社が好きな社員 (うさん臭くない社名) しっかりした経営基盤 独自の技術力 きれいなオフィスや職場 就活を終えて思うのは、大企業の方が動きや見せ方がうまいということです。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	5	2	就活でいくつかの中小企業を見ていました。いわゆる「隠れ優良企業ランキング」をよく見ていました。重要だったのは、海外勤務は可能かお給料や有給休暇消化率です。あとは「なんかおもしろそう」と思わせる経営者や事業内容に惹かれてセミナーに参加したりもしました。地元が香川なので県内の中小企業もたくさん調べました。
同志社大学	4	2	整った職場環境 女性にとって働きやすい 残業が少ない 意見を出しやすいか通しやすい 有給休暇取得率 成長性がある（会社も働き手も）
同志社大学	4	2	福利厚生 将来の安定性 給料
同志社大学	4	1	将来性 休みが多い、とりやすい（毎週6日勤務、人手不足で休めないは避けたい） 転職がない スキル等に応じた昇給 長く働き続けられるか
同志社大学	3	2	福利厚生の充実度が高い企業に就職したいです。大企業に比べて少しレベルが劣ってしまう企業が多いというイメージがあるので、福利厚生がきちんとしていれば、働く女性にとっても魅力的に見えんと思います。
同志社大学	3	2	福利厚生がしっかりしていること 会社の雰囲気がいいこと、風通しが良い
同志社大学	3	1	高いシェアである。それによりつぶれないという安心感と安定した収益が得られると考えるからだ。高いシェアを持ちえない、つまり自社に魅力がないのであれば大手企業とのつながりがあるなど、何らかの手段でつぶれないことと安定していることをアピールする必要があると考える。
同志社大学	3	1	高い将来性、成長性 福利厚生 明確な経営指針 優れた安定性
同志社大学	3	1	福利厚生の充実（休日など） 技術力があり、一定のシェアを獲得できそうな人材がある 自分のアイデアを生かす機会がある環境
同志社大学	3	2	社内の雰囲気 安定した実績（つぶれない安心感） 同じような学歴の人がいる 並みの給料
同志社大学	3	2	私は第1として、今後の成長性があるか、高い成長を見込めるかどうかが必要であると考えます。そして第2に、その仕事に対して、やりがいを持つことができるか。第3として、その会社の社風が自分に合っている、働きやすい会社かどうか条件であると考えています。大企業を選ぶ際の指標と被るかもしれないが、まずは自分がその仕事、会社に魅力が持てるか、どういう場面で社会貢献しているのか、知ることが大事だと思います。
同志社大学	3	2	福利厚生がしっかりしている（土日祝休み、ボーナスなど） 人間関係が良い（働きやすい） 経営が安定している 従業員が少なすぎない
同志社大学	2	2	女性が働きやすい環境（たとえば結婚後も続けられる、シングルマザーが働きやすい、フレックス制度など） 週休2日（せめて1日） 社風が良い（みな仲良く、向上心がある） やりがいがある 若い人が多い 他社との交流が多い 会社そのもの（建物とか）がきれい
同志社大学	3	1	福利厚生の充実など、将来のビジョンを立てることが可能であれば考えたい 私は地元で働きたいと考えているが、どうしても地元の中小企業では将来に不安が存在する。長年安定して働くことのできるという安心感がほしい
同志社大学	3	1	中小企業には極端な人手不足のところが多いイメージで、一人ひとりの負担が大きく、長時間労働や休日が少ないと想像してしまう。残業代がきちんと出るとか、休みのとり方などが明確に示されていれば、もっと目が行くと思う。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	3	2	福利厚生がある程度保証されていること 手軽にとれる情報 施設のきれいさ (何年も働くと考えたうえで我慢できるかどうか)
同志社大学	2	2	大企業では自分がその大きな企業でのコマとしか捉えられていないような気がしそうで、中小企業では地域や職場に密接した帰省感のある職場であれば就職したいと思える。まだ就活についてなど何も考えていないので、あまり断言はできない。
同志社大学	3	1	1つは、その会社独自の技術を持っているかどうかです。2つは、経営基盤が固められていて、ゼロベースでなく既存のルールを持てるだけの技術基盤を持っていることです。3つは、成果が必ず給料などに反映されること。
同志社大学	3	1	経営基盤がしっかりしている (自己資本の割合) 年収 知名度 (ある程度のネームバリューは就活をするうえで求めるもの)
同志社大学	3	2	安定的な収入 (ボーナス、手取りの額など) 福利厚生 (有給休暇のとりやすさ、住宅の手当てなど) 女性の働きやすさ (女性社員の多さ) 上司、部下の人間関係の良さ 誰かに社名を伝えるときに伝える (世界シェア〇位やあれをつくっている、など)
同志社大学	3	2	ある程度の賃金 良好な人間関係 やりがいのある仕事ができる 自分を必要としてくれている (自分にしかできないような仕事内容) 何かに自慢できるようなネームバリューや仕事内容である
同志社大学	3	2	将来性が感じられる 成長度が高い 社員を大切にす社風 教育制度が整っている 信頼できる上司、ともに成長できる同僚がいる
同志社大学	3	1	しっかりとした福利厚生 報酬面 中小企業の情報は自分から取りに行かないと手に入らないが、大手は勝手にどんどん入ってくるので、大手に興味を湧く 倒産の可能性
同志社大学	3	1	しっかりとした福利厚生と賃金 知名度 (ブランド)、その業界でしっかりとした地位を確立し、今後も競争に勝ち抜いていける能力があるかどうか
同志社大学	3	2	最近の学生の傾向として、ワークライフバランスがきちんとしているかどうか、よく重視されていると個人的には思います。やりがいや給与よりも、過労死や残業などの悪いニュースばかりみて育った世代だからだと思います。
同志社大学	3	2	中小企業は大企業より経営トップとの距離が近いようなイメージがあるため、経営者の理念、方針にどれだけ魅力を感じるか、それが独自でまた共感できるものであれば、就職したいと考える。また、有名でなくても技術力などコアコンピタンスがあつて、それが誇れるものであれば良い。あとは社風。アットホームな雰囲気とか。
同志社大学	3	1	休日が確保されていることだと考えます。大企業はともかく中小企業、特に小企業は人数が少ないがゆえに休むことができない状況になってしまいがちかもしれないというイメージがどうしてもついてしまっていると思います。中小企業のなかにはその会社がなくなってしまうと経営が成り立たないような大企業もあると思うので、そのような安定した大企業からの需要を許される範囲でアピールしていくことが大事だと思います。
同志社大学	4	2	自分がやりたいと思う業務内容と合っていたら 福利厚生が充実している (寮の設置、子育てや結婚・介護の際のサポートはあるか、将来のために毎月貯金できるくらいの給料なのか) きちんと努力すればキャリアステップしていける環境かどうか 社員の雰囲気 (学生に対する態度は顧客に対する態度につながるかと考えるから)
同志社大学	4	2	自分が就職活動をするにあたって、企業の見ていたところは、ネームバリューや会社の基盤がしっかりしているかどうか (会社がつぶれることがないか)、そして職業内容を中心に見ていた。勝手なイメージではあるが、中小企業は経営状態が不安定なイメージがあるので、そこを払拭できれば、目がいくのかなと思った。
同志社大学	3	2	福利厚生の良さ お給料 女性のキャリアの道がある (育休・産休からの復帰) 中小企業=男性というイメージがあります

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	4	1	大企業と大差のない給料があること。その中小企業に働くことによって自分に得られる資格があるのかということ。そしてその資格のための援助があるのかということ。
同志社大学	3	1	現在、就職活動のなかで、特に自己分析を進めていて、人々の気持ちを動かすこと、また自分が興味があることに関われることのできる企業、業界に就職したいと思っているということがわかってきているので、そういった点を重視したい。また福利厚生も充実してほしい。
同志社大学	3	1	人とのつながりと考えます。中小企業だからこそ人と人とのつながりは、よりいっそう重要なところで、これが欠けていると成り立たないと考えているので、人とのつながりが重要なところだと考えました。
同志社大学	3	1	賃金のアップ 労働環境の改善 人手不足からなる1人あたりの負担解消 特許などの企業がウリにできるものがあるか 倒産しないかどうかの資金力
同志社大学	3	1	圧倒的成長環境（若いうちから裁量がある） 十分な給与と福利厚生 出世スピード 転職に便利である グローバルに転換している 経営者が魅力的である 同期社員が優秀である 創造性の高い仕事が求められる 交流会があって、社員同士の仲が良い
同志社大学	4	2	安定性 女性支援（産休、育休、職場復帰）の手厚さ 将来性 大手企業に準ずる給料 自分を必要としてくれること 自分が成長できる
同志社大学	4	1	1年目から任せてくれる環境 大手の企業と接する機会 年功序列ではない昇進 個人的に大企業にこだわりはないので、考え方に芯があり、マッチすればどこでも行きたい。
同志社大学	4	1	大きな規模でなくても、その市場や分野において大きなプレゼンス（存在感）がある（企業間において有名である）。 従業員の質（どんな価値観で仕事をしているか、従業員間の関係性はどうか）。 財務基盤（財務状態）が健全であること（負債が多すぎないなど）。 トップ（経営層）の考え方、展望。 事業（仕事）内容（大学卒でやりたいと思わせるような、あるいはやるにあたって、妥当な仕事内容かどうか）、自分が将来どう成長できる会社なのか。
同志社大学	3	1	労働条件です。中小企業は人が足りないので、何十時間も残業をして、それに相応しない対価のイメージがあります。次は知名度です。就職が決まった時に親などに報告に行くときに親からの反対に合う可能性が出てきたりして、自分では決まったつもりでも急に不安になってくるかもしれないからです。
同志社大学	3	2	大企業に比べて知名度が少なく、活躍を知られていないことが多いと思います。賃金の点も重要だとは思いますが、その仕事に魅力を感じて働きたいと思う人は必ずいるので、大企業がいいみたいな偏見を取り払うことが必要だと思います。
同志社大学	3	2	不安や心配が取り除かれつつ、自分を必要としてくれていることが明確にわかること 不安や心配については、労働環境や配給についてです。もちろん良い方がありがたいですが、先行きが不安にならない程度の情報がほしいです。必要としてくれているのかどうかというのは、とりあえず知っている企業にエントリーして、不必要と言われ続け、メンタル崩壊気味なので、自分が必要とされていることがわかれば、すぐにでも就職したいです。
同志社大学	4	2	女性として結婚、出産、育児などの女性ならではのイベントをしっかりと考慮した福利厚生の方にきちんと力を入れている企業に入りたいと思う。育児休暇や子育て支援など、仕事と家庭の両立をうまく活用できる制度が整っているなら、多くの人が安心して働けると考える。また、どんな会社かを知るためにも、中小ならではの働く人との交流の場や社長との顔合わせなどをとりいれたインターンの取組やセミナーなどを開くと興味も広がると思う。
同志社大学	4	2	安定した福利厚生、労働条件。不安定、不利な境遇の中小企業であるから、なおさら（その企業ができる範囲になるが）。安心できる労働条件は必要最低限の条件となると思われる。その他として、高学歴を対象とするなら、そうした学歴（今までの努力）に対する自負や対価として高収入でなければ入りたくないという人と、その企業にしかない技術などでの特別なものを求めるという2つに大きく分かれるのではないかと思います。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	3	1	私は音楽の仕事がしたいので、中小企業を就職先としてみていない。しかし世間一般の大学生はやりたい仕事が見つまっているという人は少ないと思う。やりたい仕事がない人たちは自分の就職先として社会的地位が高い、給料が良い、仕事時間が少ないなど、こういった条件で選択していると思うので、中小企業が新入社員を獲得したいのであれば、これらの条件を満たすことをお勧めする。
同志社大学	2	2	週休2日あるか、育児休暇、仕事復帰できる環境にあるかどうか。 ある程度の給料。 通勤しやすい場所にあるかどうか。
同志社大学	2	2	やりがいのある仕事 労働環境がよいこと(残業ない、育休制度) 企業理念、企業の強みを生かす 大手でも中小でも私は気にしないで探そうと思います。会社の雰囲気とか、社会に役立っている、うちの商品に自信がある、など、やりがいを感じる仕事なら規模に関係なく入りたいと思うと考えます。
同志社大学	4	1	「やりがい」。労働条件やお金を考慮し、整備をしたところで、大手に勝るのは非常に難しいと思われる。中小企業の仕事幅は広いので、業種ごとで何をやりがいとして仕事を続けてきているのか、社員さんの声を聞きたいと思う。大手ではなく、ベンチャーで働く人が多いことからわかるように、自分の裁量が大きければ魅力を感じる人もたくさんいると考える。
同志社大学	4	1	社長が魅力的でしっかり社員に(就活生に)コミットしてくれる、さらに理念に情熱を持ち、忠実にそれを目指している社員たちがいる。そういう点があれば、私は働きたいと感じると思います。そのうえで、しっかりと安定した給料と雇用条件(決してとても良くなくても良い)があると、十分に選択肢になりえます。問題は、私たち学生が中小企業の情報にリーチしにくいことにあると思います。就職活動をするなかで、目に留まる、降ってくる情報は企業成長するベンチャーだけでした。もっと学生に魅力的に伝わる情報媒体とさらにそれがしっかり届く手段が必要です。本気で学生をとりよきたら、学生も反応するのではないのでしょうか。
同志社大学	3	1	私は中小企業に対して詳しくはないですが、大企業と比べて考えてみます。社長と近いというのが中小企業の良いところでもあると思うので、社長や上司と良い関係で働くことのできる環境や福利厚生なども気になります。大企業の外資などの若手が楽しく働けるような中小企業があれば、すごく素敵なのではないかと思っています。
同志社大学	2	1	労務管理がしっかりしていて、ある程度の賃金を約束される中小企業であれば、私はぜひ入社したいと思う。残業代が出ない、休みがとれないということは入社してからとても辛いだろうし、賃金が安ければ生活もろくにできないと考える。ぜひこのような考えが反映されていくことを期待します。
同志社大学	3	2	中小企業で名が知られていなくても社会貢献度が高い企業は魅力的だと思う。表だって事業内容が知られていなくても、陰から社会を支え、なくてはならないものを創出しているかどうか、私にとっての必要な要素である。さらに規模が小さいゆえに、従業員同士の連携がとれやすいことも魅力であり、求める点である。
同志社大学	3	2	会社の名前が知られているかどうかが大それたと思う。名前がわからない会社とわかる会社で、給料がほぼ同じなら、わかる会社に行くし、名前が知られている方が、周りに話すこともできて、世間体をあまり気にしなくても良い。自分自身も仕事をがんばれると思う。
同志社大学	3	1	賃金や有給休暇がとりやすい状況かなどの労働条件が良いところ。自分がやりたい仕事があり、やりがいを感じれるか
同志社大学	4	1	所属業界、製品のなかにおいて、高いシェアを持つ企業は魅力を感じる。就職活動中に感じたことは、大企業と比べて、情報が少ないということだった。企業の業績はもちろん、実際に働く人の声や給与面などの不透明さが特に気になった点である。
同志社大学	3	1	就職した後に自分が転職をするか、辞職というかたちになる以外で解雇されたり、クビにされないという雇用条件か、労働時間をしっかりと決め、それ以上にオーバーしたりしないという条件、どちらかは条件としてほしい。
同志社大学	4	1	中小企業と大企業には資本や従業員の差がある。また、大企業によって買収される可能性がある。そのため働き手にとっては、買収されないようにより多くの資本が必要であると思う。
同志社大学	4	2	就職活動は終わっていますが、始める前、している最中、活動後では、行きたい企業に対する考え方が変わりました。まず始める前、活動中は、ネームバリューや規模、やりがいを重視していました。しかし今は、私は女性ということもあり、働きやすさ、続けやすさが大切だと思っています。たとえば、福利厚生がしっかりしているだけでなく、それを使える周りの環境があることなどです。さらにプラスで給料です。大企業で埋もれてしまうより、中小企業で上に行き、給料を上げられるという未来計画ができるのなら、私は行きたいです。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
同志社大学	4	2	「大手との関連がある」、「発展途上の業種よりも将来も人がほしがる、求められる業種」、「転勤がない」が必要ではないかと思います。私自身就活が終わり、中小企業への就職を決めたので、上記のことを踏まえ書きたいと思います。さまざまな中小を見ましたが、中小同士の関連だけでなく、大手とのやりとりがあれば、売上や継続的な交渉が確保できると思います。また、たとえばソーラーパネルなど新しい産業よりも、女性が永続的にほしがる化粧品をつくる会社など、比較的将来性のありそうな企業でないと、不安定な現状の社会では見てもらうのは難しいと思います。また、最近地元志向がみな高いので、地元でがんばりたいということを考えれば、転勤なしが良いと思います。
A 大学	3	1	給料 休日（土日祝など） 職場環境
A 大学	3	1	福利厚生 勤務日数 立地
A 大学	3	1	将来性 企業側の熱意 企業理念
A 大学	3	1	やりがい 給与 伸びしろ（取り扱っているモノなどの将来性） 福利厚生 安定性 トップのやる気（今後の見通しなどがはっきり） 評価方法が現代的（がんばりを正當に評価） ネームバリュー（社名を売る）
A 大学	3	1	給料（中小企業で40年働いても3億円稼げないところが多いです。きちんとキャリアを積んでいけば、きちんと生活できるだけのお金は必要だと思って居ます。多少仕事量多くても、給料（手当など）がきちんとあれば、仕事をやりとげる自身はあります）
A 大学	3	1	人事の透明さ 昇進のしやすさ
A 大学	3	1	大企業にも負けない技術力や向上心がある企業
A 大学	3	1	十分に生活できるような賃金をいただけること 福利厚生がしっかりしていること 変に堅苦しくないこと
A 大学	3	1	離職率が低い 賃金が高い コミュニケーションができたり、上下関係が良い
A 大学	4	1	勢いがある 考え方に偏りが無い 職場がきれい 時代の流れを読んでいる（流れに流されていない）
B 大学	4	1	まず、福利厚生がしっかりしていてかつ、職場の人々が親切的な企業であり、昇進の可能性が高い企業。給料はそこまで求めないが、平均はある企業がいい。
B 大学	4	1	大企業と比較して、小さい組織なりの自由な社風と新しい変化への柔軟性が欲しい。それに伴って、給料は高くなくても良いが、ワークバランスが整っていて、やりがいを感じれる仕事ができる環境が整っていること。
B 大学	4	1	大企業との一方通行的な仕事のやり方ではなくて、対等な立場の中で仕事ができるような中小企業だと、仕事に対するやりがいや責任を感じ取りやすいと思いました。
B 大学	4	1	成長性が見える企業、働く際私の能力がどれくらい反映されるのか、自分のポジションが目立てるか、給料が良い方。
B 大学	3	1	世界にも誇れる武器がある。 グローバルに展開しているところ。 福利厚生がしっかりしている。 魅力的な人材が社内が多い。 部長クラスで年収1000万円程度
B 大学	3	1	将来のビジョンがはっきりしていて、実現の可能性が考えられる企業。 志の高い人達が多い企業
B 大学	3	2	きちんと法律などを守り、労働者に優しい中小企業

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	2	企業理念がはっきりしている 従業員間のコミュニケーション
B 大学	3	2	給料が良い 社員さんどうしの雰囲気が良い 待遇が良い アットホーム 福利厚生が整っている
B 大学	3	2	従業員の雰囲気 月 20 万ぐらいの初任給 休日は休みで元旦お盆など休み 福利厚生が整っている
B 大学	3	1	安定している 会社の雰囲気が良い 福利厚生がしっかりしている
B 大学	3	1	給料が年収 500 万位はほしいです。週休 2 日制
B 大学	3	1	日本において何か貢献している企業。その企業の経営方針がぶれていないかどうか 今後大丈夫かどうか。実績。
B 大学	3	1	インセンティブなどで成果主義を取り入れているところ。1 年目で年収 1000 万円ねらえるところ。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしていて、現時点では安定していて、さらに将来的に成長、発展が期待できる 中小企業だったら働きたい。
B 大学	3	2	自分の興味のある仕事をした。以前、製品開発論の講義で、木材を取り扱っており世界に床の間を広める活動をされている中小企業の方がゲストスピーカーとして来てくださった。現在、海外で日本の木材や床の間が人気になりつつあるらしい。日本のことを世界に知ってもらおうというお仕事で、少し興味を持った。
B 大学	3	2	向上心ある時に支援してくれる仕組み。教育制度
B 大学	3	1	就活をするにあたって、第一に中小企業のことが知る機会が大企業に比べて少ないので、中小企業に自分が就職して、仕事をしてキャリアアップできる自分がイメージしにくい。大企業の場合、CM などで社名を見る機会があるのでどうしても心のどこかで大企業に流れてしまうのかもしれない。給料などに関して私はそれほど気にはしていないので、やはりイメージの問題ではないでしょうか。
B 大学	3	1	福利厚生(完全週休 2 日、サービス残業なし、働きやすい労働環境)が欲しいです
B 大学	3	2	産休がとりやすく、その後復帰しやすい環境。アットホームな雰囲気をもち、上からの圧力が強すぎない環境。不正のない会社。
B 大学	3	2	給料 30 万以上、単純作業ではないもの、研修をしっかりと。
B 大学	3	2	大企業と並ぶ福利厚生。大企業と変わらないほどの給料。世界の中でその企業しかないものを持っている企業でシェアを確立している企業。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしているところ。
B 大学	3	1	中小企業で働くとするれば、社長との綿密なコミュニケーションができるという点が最も大きい。自分が尊敬できる人についていきたい、この人の会社のために働きたいと思う条件が、トップの人柄が最も大切だと感じる。その人柄の中でも特に、社員への何気ない優しい一言などの思いやりや、なるべく従業員からの声を聞き経営に活かすのが大切だと感じる。
B 大学	3	2	人間関係がいいところ ボーナス 有給休暇
B 大学	3	1	給料がそれなりに高いというものもあるが、資格や技能などに対して支援してくれること
B 大学	3	2	自分にしかできないモチベーションをもって働ける。 企業内に自分がこんな風になりたいと思える人がいる。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしている キャリアプランが立てやすい 残業手当がしっかり出る
B 大学	3	1	大企業との給料、手当、保険などの格差をなるべく埋めてもらいたいと考える。また、安定感が欲しい。
B 大学	3	1	福利厚生が大企業並みに充実していること。あと、中小企業はやはり人が少ないので人間環境の良さも重要視します。
B 大学	3	1	社長になれる可能性があるところ。 東南アジアに目を向けているところ。それか主要な取引先が東南アジアに目を向けているところ。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	2	経営理念と企業の雰囲気が自分の価値観にあっているところ。 育児休暇の取得ができて時短勤務が可能であり、法を遵守した残業時間であること。 意見が通りやすい風通しの良い企業であること。
B 大学	3	1	成果に応じて給与も含め出世できる環境があること（役員が経営者一族で独占されていない）。 福利厚生や労務管理が整っていること
B 大学	3	1	社会的役割の大きさ 周りとうまく連携が取れていること 充実した福利厚生
B 大学	3	1	ビルサービス（山口県）
B 大学	3	2	雇用が安定しているところ 業界内で独自の技術や事業内容を持っているところ 大企業並みの給与 福利厚生
B 大学	3	1	週休2日 意見の言いやすい社風 大企業並みの給料
B 大学	3	1	社内の雰囲気がいい。平均年齢が40歳近くで40歳くらいまでに700万近くもらえるといいと考 えてます。同業者が少なく安定した環境にいる会社だと安心できそう。
B 大学	3	1	抽象的に言えばロマンがある会社で働きたい。中小企業には大企業のような安定性はないかもし れないがその分、未知の可能性を秘めていると思うのでそこに賭けてみたい。
B 大学	3	2	就職難という中で、中小企業に勤めれば大企業よりも出世が早く、賃金も早めに安定してくると いう話を聞いたことがあるが、そういうところには興味が湧く。（賃金面）。だが、周りの話を聞 いていると、やはり第一には大企業への就職という考えが多く、おこぼれや滑り止め感覚で中小 企業を選ぶひとが多いのではないと思う。
B 大学	3	2	結婚、出産をしても働き続けられる環境 福利厚生 育児休暇が取りやすいかどうか
B 大学	3	1	自分の能力をいかせるような環境 働きがい 自分が必要とされていると感じれる職場環境など。
B 大学	3	1	休みがきちんとあり、福利厚生がちゃんとしている。 初任給は平均より高めで成果のみでなく勤続年数や貢献度も考慮してくれる。 交通費や出張費をきちんと出してくれる。 都市部に近い企業。
B 大学	3	1	平均以上の給料 福利厚生 休日 将来性 退職金
B 大学	3	1	私が働きたいと思う中小企業は、家族で経営していない中小企業である。理由としては、家族で 経営している中小企業では、いくら自分ががんばっても後継者は決まっていると私は考えるから です。中小企業だからこそ、社長などの上の人に接することもあると考える。そこで評価してく れる企業に入りたい。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしている。 組織として機能している。
B 大学	3	1	労働に見合った対価が得られ、企業の先行きの見通しが良い。安定した収益をあげている。
B 大学	3	1	年取が1000万以上であるか、もしくは福利厚生がしっかりしているかつ、その人の実績自体で 違う会社にも移れるような制度や環境がある中小企業で働きたいです。
B 大学	3	2	人間関係での苦勞がない。急な残業などがあまり入らない。
B 大学	3	2	私が働くうえで重視しているのは、社風と制度の充実です。やはり社員の方の雰囲気が親しみや やすく、ほとんどの方が自分の仕事が好きだと言える環境で自分も仕事に誇りを持って働きたいと 考えています。その点では、中小企業の方がアットホームなイメージですし、社員間のつながり も深いのかなとは思っているので中小企業を見るときには重視しています。また、制度については、や はり女性なので育児との両立がきいたりするところと、男性の役職が多いとやはり圧迫感があり 休日の申請もしにくいと感じてしまうと思うので、女性の割合も3～4割で女性向けの制度が整 っている中小企業がいいと思います。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	僕も実際に今ベンチャー起業の立ち上げに加わっているのですが、本当にこの課題は難しく考えます。まず働きたいと学生が思う時は、給料や環境、待遇を見られるとは思っていますが、大手ほど好条件である事はなかなか難しいかなと思います。そうなった時に次に学生が付いていくきっかけとなるのが、経営理念やビジョンだと思います。結局先ほど述べた条件で大手と新卒採用で戦うのは、ナンセンスだと思いますし、やはりどれだけ会社に熱意があるかを新卒生に訴えかけるか。それができる企業なら付いていきたいと思えるので、そういう企業が働きたいと思える中小企業になれるのかなと思います。
B 大学	3	1	初任給 27~30 万だと積極的に就職したい。 新人研修を手厚く行ってもらえるなら行きたいと考える。
B 大学	3	1	事業内容がこれからの社会に必要とされるかということや成長性はあるのかどうか。極度に緊張を強いられる職場かどうか、離職率が 20% 以下であること。金銭面では、50 代頃に年収 600 万以上あれば望ましい
B 大学	3	2	安定。私はあまり大企業がいいとかという希望がない。働きやすい環境が整っていて自分に合っているなど思える企業であれば、たとえ中小企業であっても働きたいと思う。
B 大学	3	2	月 25 万円くらいほしい。 福利厚生が整っている。 大きな金額を動かせる仕事がしたい。 いろいろな部署と関わる企業がいい。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしている。
B 大学	3	2	長期的に安定した給与がもらえる。 単純なルーチンワークではなく、新規開拓が自ら行える環境である。衛生的な職場であること。
B 大学	3	1	まずは働く場所の内容と先輩関係が良く、自分がここで仕事をしたいと思う中小企業。
B 大学	3	1	大企業にはない技術の伝達が確実に行われる。暖簾分けに近い制度があり、自分の店や会社を持てる道がある。最低でも月 40 万 (30 代) の給与
B 大学	3	1	残業があまりなくて仲の良いアットホームな雰囲気の会社。
B 大学	3	2	女性が困らない保証や雇用がしっかりしている会社。
B 大学	3	2	福利厚生がしっかりしている。 将来の成長が見込める。 職場環境がいい (いわゆるブラックではない)。 大手に負けぬような技術・サービスを少なくとも 1 つ持っている。
B 大学	3	2	会社全体に一体感があってほしい。人数が少ない分、アットホーム感をより感じられるようなところがいい。そこが強みとして出ると思う。自社愛をみんなが持ちながら仕事できる。
B 大学	3	2	賃金が大企業と引けを取らない 従業員が少ないことによる閉鎖的な感じがしない 福利厚生がしっかりしている 陰湿じゃない、排他的じゃない 職務歴が長い老人たちが偉げではない 若い人の意見も取り入れてくれる
B 大学	3	1	ビジョンが全社員に浸透し、問題解決のために尽力する企業。
B 大学	3	1	週に 2 日は必ず休みがあり、無駄な残業を強要してこないこと。 有給休暇を取ることが悪であるという雰囲気がないこと。
B 大学	3	2	自分が休んでも代わりに働いてくれる人がいる。だから有給休暇がちゃんと取れる。女性が働きやすい。給料月 20 万はほしい。土日休み。産休育休がとれる。
B 大学	3	2	残業が少ない (あるならば残業手当を出して欲しい) 女性に対する差別や待遇の違いなどが無い 産休や育児休暇などの制度がしっかりしている
B 大学	3	1	社員全員が一丸となって働いておられること。上下関係が大きいこと。
B 大学	3	1	個人的な意見では、やりがいのある仕事が楽しくできることを重要視しているが、中でもその働く中小企業でしかできないこと (その企業がなければ世界が回らないほどのこと) ができるところ。さらなる希望では、福利厚生がしっかりしている。
B 大学	3	1	ブラック企業問題がよく取り沙汰されているので、残業代は確実に比例する形でもらえたらいいなと思います。
B 大学	3	1	大企業に負けずとも劣らない福利厚生の充実 (家賃補助など) 有給休暇消化率が高い 大企業に比べて圧倒的に残業が少ない (ほほない)

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	福利厚生 マンツーマンで教えてくれることでの成長環境 若手を登用しチャンスを与える姿勢がある
B 大学	3	2	人間関係が良好なところ 福利厚生がしっかりしているところ 通いやすい場所にあるところ 将来性があるところ
B 大学	3	2	給料日が大企業以上
B 大学	3	1	基本給プラス出来高制（30歳で年収500～600万程度） 職場の雰囲気（チャレンジングであるかどうか） 福利厚生面 リスクマネジメントができていくかどうか
B 大学	3	1	上司が尊敬できる。 成長性が高い。 雇用や労働環境を整備しようと努力している。 若手にも裁量権がある。 車内の雰囲気が前向きである（明るい）。 チームワークが良い。
B 大学	3	1	若手でもしっかり評価してくれる企業全体の風通しが良い中小企業。
B 大学	3	2	月収20万程度保証されていること。その後も昇給があること。 工場などで同じことを繰り返すだけの仕事ではないこと。
B 大学	3	2	福利厚生が整っている
B 大学	3	1	風通しの良さで給料が25万以上であること。風通しの良さとは、自分のアイデアの採用のされやすさなど。
B 大学	3	1	自分の価値が確立されること。
B 大学	3	1	労働基準法を遵守している企業。
B 大学	3	2	完全週休2日制 福利厚生の充実 新入社員への十分な教育
B 大学	3	2	平均年収500万以上。 女性の働きやすい福利厚生（復活した際のポジション）。 企業存続の安定性。
B 大学	3	1	週休2日
B 大学	3	2	人柄が良い、インターンシップやセミナーなどで企業の方との会話が楽しかったり魅力的な方が多いと働きたいと思います、福利厚生や勤務時間がしっかりしていること。
B 大学	3	2	福利厚生がある程度しっかりしてるところで、部署と部署のつながりがあるところ（なかよし？的な）。
B 大学	3	1	ブラックでない企業
B 大学	3	2	確実に20年後も潰れずある企業 給料が大企業とほぼ同じくらい 福利厚生が良い
B 大学	3	2	福利厚生がしっかりしている。 自分の興味のある分野の企業。 雰囲気が明るい。 給料が良い。
B 大学	3	1	明るい職場で働きやすい環境の企業で働きたい。 グローバルな視点でキャリアを積めるような企業が良い。 年収はなるべく高い方が良い。
B 大学	3	1	働きやすい環境（福利厚生、アットホームさ）。 希望した部署に行けるなど、やりたい仕事につける。
B 大学	3	1	絶対スーツで仕事しなくてはならないというわけではなく、1人ひとりの個性も見てほしいので、私服も可能なお店。 月に3回は休日がある。 残業問題などでニュースにならないところ。 男性、女性に関係なく福利厚生制度などがしっかりしているところ。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	賃金が高い。 人間関係が良好である。 しっかりとした教育システムがある。 つぶれそうでない。 なにをやっているのが分かる
B 大学	3	1	やらなければいけない仕事を明確化しているところ。人間関係の良い会社。
B 大学	3	2	大企業に勤めるとは違い、中小企業に勤めるために役割大きい役職を担うと予想できる。そのため、メーカーであれば製品開発に個人の意見が反映されることを求める。小規模であるため、意見を通し活性化されることが大切だと思う。また、福利厚生が整った企業。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりした企業です。
B 大学	3	1	職場関係の良いなもの。(上司との関係など良好であり障壁の少ない) 最低限の福利厚生(女性の育休や男性の育児への姿勢に対する障壁のなさ) しっかりとした週休
B 大学	3	2	成長性 事業内容に魅力を感じるか 給料 25 万以上 社内の雰囲気 意見を言いやすい
B 大学	3	1	出世スピード速いこと速ければ収入も上がるので業績の上げやすい企業。転勤や異動のない企業。
B 大学	3	1	労働賃金が大手よりも多く、サービス残業がない状態。また、評価基準が公平であり客観的な判断がされるところであること。福利厚生に関しては、大手並みにもらえなくても給料に含まれていれば、問題ありません。
B 大学	3	2	あまり知られていない中小企業でも、福利厚生と給料は大手企業と同じくらいを求めたい。
B 大学	3	1	中小企業だが、技術があり国際的に通用する中小企業。名前は通っているが、あえて中小企業を貫く企業。
B 大学	3	2	小さい規模だからこそ、いろいろな部署と関わりを持てる企業
B 大学	3	1	私が新入社員だと仮定したら、新入社員の意見が通りやすく、チャレンジさせてくれる環境が整った会社で働きたいです。
B 大学	3	2	大企業と遜色ない給料。しっかりとした福利厚生。海外展開。
B 大学	3	1	週休 2 日確保。みなし残業がない。大企業に劣らない給料。社長の顔が見れる。社長から学べる。
B 大学	3	1	大手会社の下請けのような、ある程度の信頼度のある企業で働きたい
B 大学	3	1	経営者について調べ、この人のもとでなら働ける、と思う人のもとで働きたい、また社内環境が劣悪でなく、継続して働けるような人間関係を培えるような中小企業で働きたい。
B 大学	3	1	福利厚生が手厚い。完全週休 2 日制(土日休みが好ましい)。給料は大企業の平均と 1~2 万円位の差があるくらい欲しいです。
B 大学	3	1	成長性があってやり、甲斐があり、ちゃんと休める企業で働きたいです。
B 大学	3	1	ある程度の給料は欲しいが、何よりも労働環境が良い企業で働きたい。今の企業は長時間の残業は当たり前で残業することが暗黙の了解となっているのが非常に残念である。
B 大学	3	1	自分の中で、中小企業は福利厚生があまり整っていないイメージがあるので、その辺りをしっかり明示して欲しい。また、上記に近いが、育児休暇など社員へのサポートの制度を固めて欲しい。
B 大学	3	1	幅広い業務に関われる企業(いろいろな部署を経験させてもらえる企業)。言語が学べる環境が整っている企業。
B 大学	3	1	福利厚生はそこまで重要視しない代わりに給与の伸びは大企業レベルであってほしい。残業代が確実に払われる環境であってほしい。
B 大学	3	1	職場環境が良い。自分の能力を活かせる場所。収入が安定している。
B 大学	3	1	大企業並みの賃金。他には、製造業だったら「この製品にうちの企業の部品が使われています」といった親近感の湧く情報が欲しい。
B 大学	3	2	給料がよくて、福利厚生もしっかりしている企業。
B 大学	3	2	やりがいのある仕事・将来性がある企業・明確な目標がある企業・社会保障が整っている企業・勤務時間や業務が明確できちんとしている企業。
B 大学	3	1	労働と賃金が見合ったところ。やりがい、自分がしたい仕事かどうか。
B 大学	3	2	給料手取り 20 万以上。ブラックじゃない。福利厚生がしっかりしている
B 大学	3	2	女性待遇、残業手当等がしっかりしているところ。
B 大学	3	2	周囲の認知度が高い。全国とは言わず地方だけでも認知度が高い企業だと安心するから。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	僕が求めるものは皆に夢を与えるあるいは誇りをもって仕事できる環境が欲しいです。僕は現在自動車製造業でインターンしています。そこはベンチャー企業です。社員は大体30名満たないくらい小さな会社です。僕は将来そこで社員として働きたいと考えています。それは勿論俺が車が好きだからというのがあります。しかしそれより大きい理由は、直感的に「カッコいい」「いい仕事してるな」と思えたからです。
B 大学	3	1	取入と労働内容がマッチしてると思える企業で、ブランド力に力を入れている企業。
B 大学	3	2	私は、働く際にトップの人間がどういった考えをお持ちであるのかをまず考える。私の中では、中小の社長などの考えは企業全体の仕組みを覚えさせて頂き、その企業に貢献したのち、積極的に独立のバックアップをしてくれるといったイメージが強い。なので、私が望む企業とは、全面的に独立のバックアップをしてくれる企業、なおかつお互い高め合い成長させてくれる考えを持った人達が集う企業で働きたい。そのような企業で働くことこそが、個々の才能を開花させてくれ、お互いが高め合い、個人としても集団としても成長できるのではないかと考える。そういった野望に燃えている企業に魅力を感じている。
B 大学	3	1	働きたい中小企業は、大企業にはない、社風や社員の結束力のある中小企業で働きたい。大企業では個人の成果が問われたりするので、集団で結束力があり、みんなで会社を大きくしていける雰囲気のある中小企業で働きたい。
B 大学	3	1	給料。ネームバリュー、どれくらいのひとがその企業のことを知っているか。
B 大学	3	1	良い労働環境（週休2日、9～17時）。充実した福利厚生。
B 大学	3	2	女性の昇級。給料。
B 大学	3	1	住宅手当等の福利厚生がしっかりしていること。 有給休暇をきちんと消化させてもらえること。 理不尽な縦社会がないこと。 残業に対する手当がきちんと支払われること。
B 大学	3	1	成長性がある上司から部下までの風通しのいい企業
B 大学	3	1	手厚い福利厚生と成果主義の給与
B 大学	3	1	私は仕事とプライベートを両立できような企業で働きたいと考えているので、ある程度の給料と休みのある中小企業で働きたいです。具体的には家族を持つことも考えて年収500万と週休2日であれば働きたいと思います。
B 大学	3	1	完全週休2日制 産休育休もとりやすい 社員としての特典（社割や社員旅行）がある 社員間の風通しの良い
B 大学	3	1	割と自由に休み（有給休暇）がとれる企業。
B 大学	3	1	社会福祉制度が充実している会社。
B 大学	3	1	地域と信頼関係の築ける企業。 従業員を守ってくれる企業。 今後経営が悪化していくことのなさそうな企業。
B 大学	3	2	経営がきつく、いわゆるブラック企業と呼ばれるようなところではなく、経営者と従業員の意思疎通がしっかり図られているところ。
B 大学	3	1	アットホームな社風
B 大学	3	1	世界に通用するような中小企業の技術力。例えば、鉛筆削りの刃の技術で世界に認められている中小企業がある。中小企業が持っている中小企業ならではの技術力を求めたい。
B 大学	3	1	給料は初年度は月20万円以上。そして一番重視しているのは裁量権が大きい会社であるということです。自分で結果を出せば出すだけ評価をされ、任される仕事も20代の時からいろんなことをされてもらえる企業が魅力的だと思います。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしていることと、明確な経営方針が定まっていること。
B 大学	3	2	現状維持でない（これから伸びる）こと。女性のキャリアアップが望める。挑戦する姿勢があること。自分の能力を評価してくれること。社内の雰囲気が良い。働いていてやりがいを感じる事ができること
B 大学	3	1	人権がある。世間に隠してこっそりと労働基準法違反をしない。
B 大学	3	1	長期ビジョンがしっかりと決まっていて、この経営者の下で働くことで人間として成長できると思える企業で働きたい。あとは人間関係が良好な企業がいい。労働時間は過労死するレベルはお断り、残業は多少我慢するしかないと思う。
B 大学	3	2	社長が従業員と同じフロアに居て、社長と従業員との距離が近く、意見を言い合えるところ。働きやすい職場環境が整っているところ。給料が月25万ぐらいのところ。
B 大学	3	2	それなりに大企業と変わらない給料で、福利厚生もそれなりにしっかりしている企業。またそれなりに良い雰囲気のある企業であってほしい。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	2	大企業と同等の賃金。私は女性なので、育休産休もしっかり取れる(人手不足だからすぐ復帰してと言われるイメージがある)こと。有給休暇がきちんと消化できること。人間関係が濃密すぎないこと。ある程度距離感を保って働きたいと思っています。
B 大学	3	1	福利厚生がある程度整っている。 先を見越して行動するようなイノベーション企業(人工知能とかに対応できるような)、地域貢献のように、営利性よりも倫理性を大事にする企業。
B 大学	3	1	出世スピードがはやく、収入をあげやすい中小企業。
B 大学	3	2	福利厚生がよくて、キャリア形成が明確に見える企業。
B 大学	3	2	福利厚生がしっかりしている。 経営がある程度安定している。 自分のやりたいことができる企業であれば働きたいと思います。
B 大学	3	1	特許技術をもっているとか、海外に進出している企業。
B 大学	3	2	福利厚生がしっかりしている。 給料が大企業と変わらない。 倒産する可能性が低い安定した企業。
B 大学	3	1	残業なし、週休2日 副業可能 変な上司がいない 月給20万円以上
B 大学	3	1	経営陣との近さ 完全週休2日制 社長崇拝のないところ
B 大学	3	1	事業の社会的貢献性が高い(感謝されるような事業) 事業の成長性(強みや独自性など)がある程度ある 社長の人柄や社内の雰囲気が良い やりがいを感じられる
B 大学	3	1	結果に至るプロセスを束縛しない。もしくは不利益を被ってもいいと思えるくらい会社の人に好感がもてる。
B 大学	3	1	ホワイト企業 週休2日制 福利厚生が良い 月25万以上の給料
B 大学	3	1	成果に対してしっかりと評価してもらえる。 週に2日きちんと休みがある。 やりがいのある仕事ができる。
B 大学	3	2	大企業よりの平均より給料が高い 休暇制度がきちんとしている 福利厚生が充実している
B 大学	3	2	福利厚生制度がしっかりしている 月25万円以上の給料 女性の活躍できる環境である 事業内容に魅力がある(新規性、今までにないおもしろい事業を行おうとしている) 大企業ではできないが、この中小企業ならできるといふ魅力のある会社 成長している企業である
B 大学	3	2	大企業と遜色ない給料 福利厚生 充実した制度 あたりまえだけどやりがい 楽しさ ユニークさ
B 大学	3	1	十分な給料(大企業並みの) 職場の人間関係
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしている。 興味が持続する事業の将来性。 やりがいを感じる事業構成。 海外転勤あり。
B 大学	3	2	大企業はボーナスや有給休暇、子育て支援など福利厚生がしっかりしているイメージがあるので行きたいと思いますが、中小企業も福利厚生が充実しているなら入りたいです。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	土日祝日が休み パワハラなし 異常な労働を強いない 社長が社員のことを考えている 将来性がある 福利厚生が手厚く整っている 月に40万以上の収入
B 大学	3	2	福利厚生がきちんとしている 5年後には一部上場するような大企業になりかけの中小企業。
B 大学	3	2	大企業と変わらない給与 福利厚生 きれいで環境のいい施設 立地 安定した事業や商品がある
B 大学	3	1	この先成功できる展望のある事業を展開している企業。大企業に比べ個々の努力が現れやすく、やる気につながるから。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしているところ。何人かが有給休暇をとっても滞りなく会社が運営できる会社。情に訴えかけるような交渉をしない会社。
B 大学	3	2	大企業並みの賃金制度と福利厚生がしっかりしていれば企業の規模に関わらず働きたい。
B 大学	3	1	安定性があること（倒産の危機がなく安心して働けること）。 未来が明るいこと（将来性があり、右肩下がりでないこと）。 ワクワクすること（働いていてやりがいであったり、好奇心をくすぐられること）。 福利厚生をしっかりしてくれること。
B 大学	3	2	将来性がある 40代での年収が800万
B 大学	3	1	安定した収入（月25万以上） 週休2日制
B 大学	3	1	シェアナンバーワンの製品を作っている オフィスがきれい 女性に優しい福利厚生があること。
B 大学	3	2	賃金制度がしっかりしてる（残業手当がでる、とか） やりがいがある仕事ができる（自分の意見が採用されたりする） 企業全体の雰囲気がいい（部署間の連携がしっかりしている、とか、みんなで仕事してる）
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりと成されていて、女の人でも楽しく働けるような企業。楽しそう企業がいいです。
B 大学	3	1	大企業に勝る圧倒的な成長環境。 若手に大きな裁量がある。 風通しが良い。 少数精鋭。 その中小企業で働くことに対する魅力が全社員から伝わってくる。
B 大学	3	1	大企業負けな資本力のある企業。
B 大学	3	2	安定した、ある程度の額の賃金がもらえる。 福利厚生がしっかりしている（週休2日制、土日祝休み、保険など）。
B 大学	3	1	ある程度の給与（月25万程）と、将来も安定して仕事できる環境。 自分の考えを出せる仕事内容。 工場等の機械的な作業は嫌です。
B 大学	3	2	大企業なみに、福利厚生がしっかりしていること。それだけの資金があること。安定性があること。
B 大学	3	2	福利厚生が整っている。 やりがいのある仕事。 企業内の人間関係、風通しの良さ。 社員同士の仲の良さ、信頼関係の強い企業で働きたい。
B 大学	3	1	給料が良い。 福利厚生がしっかりしている。 地元とのつながりが強い
B 大学	3	1	福利厚生などがしっかりしている。 大企業と比較される際にその企業がどこに誇りを持っているか。 社内の雰囲気。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	2	初任給が手取り 20 万以上 ボーナスがちゃんともらえる 平均年齢が 30 代以下で活気がある 夢がある 勢いがある企業 大企業の下請けだけをしていない
B 大学	3	2	イベント企画 教育系(塾とか) 映画配給 地域雑誌制作
B 大学	3	2	福利厚生が整っているところ(例えば育児休暇とか) 残業が少ない
B 大学	3	2	向こう 10~30 年間は安泰で発展して行く企業。福利厚生がいい企業。ボーナスがいい企業。企業内の人間関係がいい企業。下っ端の意見をきちんと聞いてくれる企業。
B 大学	3	2	自分のやりたい仕事で、かつ給料も休みもしっかりあり、福利厚生がしっかりしていて家族のことも考えてくれるところです。
B 大学	3	1	政府の保護なしにはやっていけない企業ではなく守られつつも自社特有のコアコンピタンスを有して独自のビジネスを行える事業。
B 大学	3	1	残業手当など仕事に応じた賃金がある企業 労働環境が整っている企業/ハラスメントがない企業 ある程度安定した利益をあげる企業
B 大学	3	2	高い給料は求めてないですが、休みがきちんと取れればいいです。
B 大学	3	1	今後の成長が見込まれる商材を扱っていること。きちんとした評価がなされ、それが賞与に反映されること。
B 大学	3	2	大企業に比べて、福利厚生費など少ないと思います。従って、その分一緒に働く人との仲間感や働きがいなどを求めます。給料としての対価ではない、何か得られるような魅力があれば働きたいなと思えます。
B 大学	3	1	できるだけ自由な会社。自由っていうのはなににしてもいいとかではなく、ある程度の常識の範囲内で、一般的な企業よりもストレスなく働ける環境、また、それを実現できる企業自体の高度な近代性も必要になる。
B 大学	3	1	成長性 本気で仕事に向き合う社員 大企業に追いつけ追い越せの活気溢れた風土 初任給 23 万
B 大学	3	1	安定した福利厚生 出世しやすい 独自の技術を持っている
B 大学	3	1	10 年目において年収 1000 万円。買収されないこと。ブランド力。
B 大学	3	1	出世が早く自分の成果をよくみしてくれる企業。
B 大学	3	1	風通しの良い企業 若いうちからしっかりとプロジェクトに参加させてもらえる 年功序列というよりも成果主義・福利厚生の良い企業
B 大学	3	1	つくっている物、自身の興味のある分野。土日休み。
B 大学	3	1	私はやりがいを求め、成長のできる企業を求めため キャリアの伏線が多いこと トレーニングの仕組みがしっかりしている よくあるジョブローテーションが自分の適性の判断によって行われること
B 大学	3	1	福利厚生がある。定時で終わる。
B 大学	3	1	給与が大卒の中でも高い。若い人が集まっている。海外研修等のスキルアップのための取り組みがされている
B 大学	3	1	自分がやりたいと思う事業を展開している中小企業は魅力を感じますが、給料と福利厚生が充実していないと働きたいとは思わないです。
B 大学	3	1	やることがはっきりしている。実現性が高い。給料月 35 万円。
B 大学	3	1	就業時間が比較的安定していること。時期によって仕事量に差がありすぎないこと。
B 大学	3	1	安定した雇用と給与があること。平均年収よりも 20~30% 上の給与がほしい。
B 大学	3	2	自分も経営に関われる企業

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	良い福利厚生が会社に遠慮することなく気軽に取れるような企業。 有給休暇消化率 100%。 週休 2 日制。 高いポストについている女性が多い企業（男尊女卑がなさそうだから）。
B 大学	3	1	社員同士の人間関係がよく社員のことを大切にしてくれる企業。
B 大学	3	1	規模が大企業とは違い、トップとも近い関係だと思うので、自分の考えなどを上役に伝えやすく反映されやすい仕組みがあれば働くモチベーションになると思う。
B 大学	3	2	中小企業だからと言って、過酷な労働を求められるのは避けたい。また、きちんとした賃金制度が整っており、女性差別もない企業を求める。
B 大学	3	2	福利厚生が大企業と同じように整っているところ。
B 大学	3	1	転勤範囲も狭く、大手企業に比べ人が少ない分、個人的な事情の考慮があるところ。
B 大学	3	1	ある程度経営が安定していて、世界とは言わずとも向上心が会社全体に浸透している企業。
B 大学	3	1	大企業並みではなくても福利厚生面がしっかりとしていること！
B 大学	3	1	高い給与 充実した福利厚生 若い段階での大きな裁量権 広範な業務内容 高い専門性を活かした業務内容
B 大学	3	1	長期的な経営プラン（20 年から）。週休 2 日。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりとしている。給料も大企業より多いくらい出せるのであれば、社員の数が少ないことと比較して、仲良く働きたい、でも給料がという層は行くと思う。 働きたいとはまた別ですが、中小企業にそのような企業があったとしても知る機会がないので、まずその機会の確保が必要だと思う。
B 大学	3	2	社風が良い。福利厚生がしっかりとしている。
B 大学	3	2	大企業に負けなくらい、勢いと誇りを持った中小企業。 福利厚生もしっかりしていて、育児休暇や職場の人とのつながりも大切にできて、気持ちよく働ける環境の整った会社。
B 大学	3	2	制度が整っていること。特に、妊娠・出産に関して対応してくれるところがいいです。また、その時に会社全体が理解あることを求めます。偏った意見や、女性に対する差別が無い人たちが働いてることで、帰って来やすいと思う。
B 大学	3	1	職場環境が良いところ。 きれいなオフィス、働きやすい環境、コミュニケーションがよくとれる職場環境が好ましいです。
B 大学	3	1	転勤移動がなく完全週休 2 日制な企業
B 大学	3	1	初年給 30 万超え。年功序列で 40 歳では年収 2000 万を超える年収。 福利厚生、手当。 不正残業なし。 自分のやりたい仕事を通る企業
B 大学	3	1	労働基準法を遵守している。 過剰な馴れ合いが存在しない。
B 大学	3	1	給与 休暇 福利厚生が充実している企業 給与は新卒時にボーナス込みで年 350 万程度、30 代半ばで 450 万程度が望ましい。 休暇は年 120 日。「やり甲斐」などといった不透明な言葉ではなく目に見取れる数字で表してほしい。
B 大学	3	1	将来展望と自身の意図でどこまで動けるか、勤務形態の自由さ。
B 大学	3	1	みんなが家族のような関係でお互いを尊敬しあっているような企業。お互いの立場や位置に近い企業。
B 大学	3	2	大企業ほどとは言わないが、賃金がそこ引けを取らないぐらいもらえる 企業に安定性がある あまりプライベートに干渉しすぎず、福利厚生がきっちりしている
B 大学	3	1	月 25 万 若い社員でも意見が通る 自分のやりたいことができる
B 大学	3	1	社長との距離が近い 自分の考えのもと、早い段階で仕事を任せてもらえる

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	安定した収入 休み (簡単に) 倒産しない保証
B 大学	3	2	お給料がしっかりもらえる中小企業
B 大学	3	1	残業が少ない 大企業並の給料もあり得る 他の社員との関係が親密
B 大学	3	2	移動、転勤がない 福利厚生がしっかりしている 産休、育児休暇をとりやすい。そして復帰しやすい。
B 大学	3	1	ある程度の知名度 地域とのつながりを大切にしている企業 働く人たちの関係が悪くない皆でがんばろうとする企業
B 大学	3	1	潰れない企業。30歳を過ぎた辺りとかで倒産されて路頭に迷うのは流石に困る。あとは多少仕事があっても賃金が不当でなければ御の字。
B 大学	3	1	職場環境の管理がしっかりしている企業。
B 大学	3	1	ある程度の収入 残業がそこまで多くない 成長の見込みのある企業
B 大学	3	1	雰囲気が良い 向上心が高い人が多い、もしくは向上心がある人を支援する環境が整っている
B 大学	3	1	月給が手取りで20万円あるととてもありがたく思います。休日も、バラバラでいいので月に8回あるとうれしいです。
B 大学	3	2	福利厚生がしっかりしている。 オフィスがきれい。
B 大学	3	1	中小企業は大企業と比較した際に福利厚生が充実しにくいと思うのですが、そこを充実させてほしい。
B 大学	3	1	ベンチャーで成長が見込める産業に位置する中小企業。
B 大学	3	1	ある程度の立場が保証されている。
B 大学	3	1	しっかりとした福利厚生(保険、労働環境など) 週2日の休日・大企業の子会社であること・安定した年収(600万ほど)
B 大学	3	1	会社の知名度。周りの友達や親や親戚が知っているような会社に勤めることをどうしても気にしてしまいます。
B 大学	3	1	完全週休2日制 お盆、年末年始休み
B 大学	3	1	難しいとは思いますが、大手のようなそう簡単には倒産しないという安定性と年収最低500万円ぐらいもらえる企業なら働きたいです。
B 大学	3	2	私が働きたいと思う中小企業は、地域に根ざした地域の人たちに役に立つことのできるような企業である。つまり地域中核企業である。そして地域経済を活性化させたい。
B 大学	3	2	福利厚生がしっかりしているところ。 給与もある程度だけど休暇などの取得のしやすさ。 また、企業のことももっと知れる機会があればいいと思う。ホームページなどでの調べやすさなど。
B 大学	3	1	安定した給与。35歳で1000万円。 働きやすさ。 従業員が企業に誇りを持っている。 知名度。
B 大学	3	2	福利厚生が充実している(産休、育休など)。 きちんとした教育制度がある。 給料が20万くらい。
B 大学	3	1	職場の環境がフラットで社員同士の距離が近い。 魅力的な仕事内容
B 大学	3	1	競争相手との差別化がしっかりできている企業。
B 大学	3	1	自分がしたいことができ、オンリーワンの製品を作っているところ。福利厚生もしっかりしてほしい。
B 大学	3	1	私はベンチャー企業のような現在成長しており、今後もさらに成長し続けるような企業で働きたいと考えている。また、業界としては、IT業界に非常に興味があるため、その分野で働きたい。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	2	大企業並みの給料や福利厚生 大企業では大きな組織の駒として働くというイメージがあるから、自分の意見をたくさん取り入れてもらえるようなところ 成長性
B 大学	3	1	福利厚生が整っている企業。週休2日制。
B 大学	3	1	人として魅力のある人が多い企業。働いていることに誇りを持っている職場。
B 大学	3	2	福利厚生がいい。 これから成長する見込みがある。 女性への待遇がいい。 潰れる心配がない。 給料が良くて安定している。
B 大学	3	1	給料が大企業並みかそれ以上なら就職したい。 特許を持っていたり、誇りを持てる仕事内容。
B 大学	3	2	成長性 強み 職場の雰囲気 上下関係
B 大学	3	1	福利厚生がちゃんとしていて、給料が良い。
B 大学	3	1	高い技術力のある企業。 将来発展しそうな、世の中に必要ありそうな技術を持った企業。
B 大学	3	1	カリスマ性のある社長がいて、この人の下でなら会社と一緒に自分自身も成長できると思える中小企業。
B 大学	3	2	将来がみえる企業。 福利厚生制度が機能しているか。
B 大学	3	1	やりがいい。 ある程度の給料。 労働条件を守る
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしており、資格や育児休暇などが取れる企業。
B 大学	3	2	福利厚生が良い（有給休暇取得率がいい、残業代がでる） 賃金が良い（30万円くらい） 社風が良い
B 大学	3	2	きちんと自分の本来の仕事に集中できるだけの人員を確保できている企業。
B 大学	3	1	業績が安定していることがもっとも重要。また、転動がないこと。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしていて倒産の心配がない企業。
B 大学	3	2	労働時間に無理のない企業 職場の人たちとコミュニケーションをとりながら働ける企業 自社の生産が、他の企業の意思決定によって左右されない企業
B 大学	3	1	将来性やコア資源があるか。 福利厚生がしっかりしているなどが働きたいと感じる条件です。
B 大学	3	2	優秀な人材が多い。 理念が具体的で社員に浸透している。
B 大学	3	1	新卒者でも平等に評価してくれるような企業。
B 大学	3	2	女性が多いところ。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしている所で働きたいと思う。
B 大学	3	2	地域との連携がはかれている企業。 予算配分などがしっかりしている企業。
B 大学	3	1	給料が大企業と同じくらい良い企業。 しっかりとした明確な戦略がある企業
B 大学	3	2	福利厚生が充実している 世間での認知度
B 大学	3	1	移動や転勤が少なく、昇給しやすい企業。
B 大学	3	1	会社のポリシーに納得でき、人間関係が良いこと
B 大学	3	1	30代で少なくとも年収700万あること 福利厚生がある程度整っている環境があること
B 大学	3	2	高賃金。月25万以上。 完全週休2日。 福利厚生。特に育児などの女性に対するもの。 立地条件が良い。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	2	そこで働いている人が皆、活躍できる中小企業。
B 大学	3	2	福利厚生がしっかりしている。 女性が働きやすい環境
B 大学	3	1	良い会社 給料 50万/月 福利厚生 成長できる環境 働きやすい職場 潰れない企業
B 大学	3	2	給料がしっかり正確にもらえて雇用制度や保険がしっかりしていません。また人情の威圧感がなく残業などがあまりないところがいいです。
B 大学	3	1	給料, 福利厚生が大企業より良いこと。
B 大学	3	2	給与, 福利厚生等が大企業にあまり劣らない企業。 将来性があり, 倒産やリストラの可能性がない企業。
B 大学	3	2	自分の成果をしっかり反映してくれる企業。
B 大学	3	2	労働環境が整っている。 会社が明るくてきれい。 給料が安すぎない。 アットホームな職場。 一人一人の労働負担が重すぎない。 産休育休が取りやすい環境である。
B 大学	3	1	週休2日制 手取りで25万の給料 福利厚生がしっかりしている 育児休暇が取れる 残業手当支給
B 大学	3	1	まず, その中小企業が自分を育ててくれることです。次は, 一定の権限を与えてくれることです。最後は, ちゃんと休み取れることです
B 大学	3	1	月給20万円以上, 有給休暇がしっかりと取れる, 福祉がきちんとしてきている。
B 大学	3	1	事業のビジョンや自分が関心もっている事業であるか。関心ない分野だったら, 給料30万円くらい。
B 大学	3	1	企業のアイデンティティを持っていること 福利厚生の充実 企業影響力
B 大学	3	1	平均並みの給料 充実した福利厚生 定年まで働くことができるか
B 大学	3	1	血液がつながってなくても家族と感じられるところ。雇われているより, 経営者のように働けるところ。大金ではなくても一定の収入は保証してくれるところ。
B 大学	3	1	給料はどこでもほぼ同じなので自分の成長がするよう専門知識を獲得できるところがいいと思います。
B 大学	3	1	ドーム
B 大学	3	1	自分は企業にとって不可欠な存在とか, 案件を解決したら, すぐ達成感が感じられるとか, そのような自分の実力や能力を活かせる場所で働きたいです。
B 大学	3	1	福祉(保険とか休憩など)がよく, 働く人(労働者たち)に対して働きやすい環境の職場。
B 大学	3	1	残業がなくて仕事が終わったら個人生活ができる中小企業。
B 大学	3	1	風通しがいい。 若いうちに大きな仕事を任せられる, 活躍できる。 職場の雰囲気がいい。 福利厚生がいい。 経営理念が自分と合う。
B 大学	3	1	企業の発展可能性 安定的さ ユニークな技術 福利厚生
B 大学	3	1	ある程度認知度があるところで, 給料(月20万程度), 福祉(例えば, 育児休暇など)がよくできているところだと働きたい思います。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	1	従業員に一定の権限と自由度を与え、成果を報酬に合わせるような中小企業で働きたいと考えています。
B 大学	3	1	自分自身が企業と共に成長できる職場。事業自体にビジョンがあり、それに伴いたい企業。ある程度安定している福利厚生制度に取り組んでいる企業。
B 大学	3	1	自分の能力が発揮できる企業であり、社員のつながりが深い中小企業で働きたいです。
B 大学	3	1	素晴らしいリーダーがいる、そして社内の雰囲気は前向きで、活気がある中小企業で働きたい。
B 大学	3	1	働きやすい環境と大企業に近い給料。
B 大学	3	1	まずは良い働き雰囲気を築く会社である。自分の仕事をちゃんと完成して、責任を取る。そして、明確な進昇制度も重要である。新卒として、自分の未来は非常に重要なので、進昇制度を知れると、仕事もやる気満々と思う。
B 大学	3	1	自分のことを一番認めてくれるところで働きたいと思います。 働きやすい環境、人として尊重してくれるところで働きたいです
B 大学	3	1	安定しているのが一番だと思います。人々が行きたい大企業というのはそもそも、安定して収入を得られると思うから大企業に行くとは思いません。また、残業や社員の福祉の面でも大企業のほうが中小企業より一般的にいいと思います。
B 大学	3	1	自動車関連技術を持ってあり、安定して働ける企業。
B 大学	4	1	ビジョンや経営理念、社長や幹部の方向性や目指すものに激しく共感できること。 自分の成長に企業が協力的であること。 女性が働きやすい環境であること。
B 大学	4	2	給与は20～25万から。もともとインドで日本語のフリーペーパーを発行している企業にいました。どういう経歴かも受け止めてほしいです。またどういう人材がほしいのか、発信してほしいです。
B 大学	4	2	福利厚生がちゃんとしている。 住宅の補助が出る。 社長や上の人たちとのコネクトがしやすい。 クリエイティブで柔軟な発想を持っているところ。
B 大学	4	2	実戦で学べる環境。 いろいろと挑戦させてくれる。 アジアで働かせてもらえる。 初任給20万以上。
B 大学	4	2	ハングリー精神を忘れていない。 上に伸びようとする力を自ら作り出すことができる。 大企業の下請け、関連会社、つながりがある。 社風にこだわりがある。
B 大学	4	2	フラットな人間関係で、大企業などでは通らないような新入社員の意見が通る企業。 福利厚生がきちんとしている（特に女性に対しての）。 完全週休2日制である企業。
B 大学	3	1	福利厚生がきちんとしていて、初任給20万円以上。働きやすい環境。例えば大企業とは違って社員数が少ないので人間関係が円滑でコミュニケーションが取りやすい環境など。
B 大学	3	1	福利厚生の整った中小企業
B 大学	3	2	福利厚生の充実（社会保障、残業代など） 職場の雰囲気の良さ（お互い意見を言い合うことができ、考えの違いを理解し合える） 成長性のある企業
B 大学	3	1	業務の魅力。給料（将来的に1000万いけるくらい）。企業の成長性。ワークライフバランス。企業とのマッチング。実績。裁量権があること。社員が各自責任を持って働いている環境。
B 大学	3	2	給与の良さ。 中小企業は大企業から委託された仕事をやっているイメージがあるので、仕事の一部しか関われない気がする。社会に役に立っているんだという実感。
B 大学	3	1	しっかりとした福利厚生
B 大学	3	1	残業が少ない 評価基準が平等 企業の雰囲気がいい
B 大学	3	1	働きたい中小企業は、成長市場であることである。今後の発展やニーズのある中小企業だからこそできる事の幅が広がり良いサービスを提供することができるから。
B 大学	3	1	大企業に対し、ネームバリューがない場合が多いので、その分給料のインセンティブがほしい（年収800万くらいでたら確実にその企業は人気が出る。実際学生なんてものは物差しが給料とネームバリューくらいしかない）

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	3	2	給料は安すぎなければそこまでこだわらないが、土日祝を確実に休むことができ、残業の上限が決まっている企業。 基本的に残業はなく、しても1時間程度など、自分が無理なく働ける企業。
B 大学	3	1	保険などの福利厚生が整っている企業。
B 大学	3	1	福利厚生が魅力的であり成長している企業。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかり整っている。 若手のうちから意見がしっかり言えるような環境が整っている。 人手不足でも教育をしっかり行ってくれる。
B 大学	3	2	安定した雇用。 安定した給与(初任給が手取りで18万)
B 大学	3	1	休みの融通がきくことと年収が650万円以上
B 大学	3	2	ある程度、将来性があり(将来的に大企業になる可能性がある) 給与が大手と同等にもらえるような中小企業
B 大学	3	1	自分のやりたい職種をさせてもらえる企業。大企業では小さな歯車の1つに終わるところを中小企業ならひとりがより大きな事業に取り組めるならそれは働きたい。
B 大学	3	1	みんながみんな目立てる機会が多い会社。みんなでその企業を大きくしていける会社。収入は不安定になるのはある程度仕方ないとして、それをまかなえるやりがいを感じたら大丈夫。海外に展開している。
B 大学	3	1	福利厚生がしっかりしている。
B 大学	3	1	年収700万円は欲しい。 福利厚生がしっかりしていて安心して老後を迎えたい。
B 大学	3	1	自由度の高い職場がある。
B 大学	3	1	福利厚生の実 研修期間及び独り立ちできるまでの会社の体制
B 大学	3	1	将来グローバル展開を考えている。 他社には絶対負けたくないというような競争優位がある。
B 大学	3	1	もし中小企業で働くことになったら、まず福利厚生がしっかりしていること、次にワークライフバランスが確立されること、そして海外展開を行なっている企業で働きたいです。中小企業をあまり選択肢に入れない理由でもっとも大きいのが福利厚生制度が大企業並みにないと聞くので、その部分さえあれば入りたいと思います。あとは、ワークライフバランスを保って給料もある程度(500~600万)程度もらえたら働きたいと思います。
B 大学	3	2	やりがいのある仕事がある企業。働いた分相応のお給料
B 大学	3	1	興味を持てる事業内容。やりがいがある。評価が適切になされる。福利厚生がしっかりしている
B 大学	3	2	初任給が手取り18万くらいで、そこからしっかりと昇給もあり、有給休暇も取れ、残業手当も出る企業。
B 大学	3	1	ホワイト企業
B 大学	3	1	やはり、給料面が大きな要因と思う。初任給手取りで20万はあるとうれしいと感じる。また年収が良いということも大きな要因であると思う。
B 大学	3	2	魅力的な福利厚生が備わっているところ。特に女性にとっての福利厚生がしっかりしていればうれしく思います。
B 大学	3	2	安定した給料と、しっかりとした福利厚生。 有給休暇の取りやすい職場環境。 自由な社風。
B 大学	3	2	安定した賃金(月給20万以上)。 アットホームな社内環境。 福利厚生がしっかりしている。
B 大学	3	2	働きやすい環境(長時間残業なし、女性支援など)
B 大学	4	1	私が働きたい中小企業は、IT系の企業です。パソコンをいじるのが得意で、このスキルを活かしたいと思ったからです。給料は並みの給料でかまいません。できれば土日は休みたいです。
B 大学	4	1	自分の考える企画をすることができ、それに力を入れることの時間が与えられているところ。
B 大学	4	2	職場内が仲が良い。やりがいのある仕事。
B 大学	4	1	潰れないであろうコア技術をもち、社員への研修、保証の充実、事業の多様性。
B 大学	4	1	家が近く、月収30万程度で福利厚生がしっかりした企業。
B 大学	4	2	給与と福利厚生です。平均年収と賞与などが決め手になります。ビジョンややりがい等は、中小企業の方が感じれると思います。しかし、給与等の問題でなかなか目が向きません。
B 大学	4	2	福利厚生が大企業と変わらず良く、女性が働きやすい複合施設や福利厚生が大企業よりもある方が働きたいと思う。結婚、出産してからも働きやすいフレックス制だったらなおさら良い。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	4	1	中小企業で働くとするれば、従業員同士アットホームな環境、様々なことに挑戦もできるような環境があるといいなと感じた。
B 大学	4	1	事業内容が明確、給料も世間の平均額もらえる。
B 大学	4	1	中小企業は大企業に比べて当然規模が小さいため、中小企業で働くならば、ある程度の権限が欲しい。というのも、権限というのは、地位などではない。自分が会社に貢献できていると実感できるとうれし私は感じるからである。
B 大学	4	2	福利厚生が良いこと。ワークライフバランスがとれるところ。職場の環境がアットホームであること。年取が高ければ高いほど良い。高い技術か独自の技術を持っている。
B 大学	4	1	和気藹々とした楽しい企業。給料は月 20 万あればいいです。やりがいがあるって、毎日が鬱にならないような企業がベストです。
B 大学	4	1	働きたい中小企業は、まず自分が興味を持てる企業があるきかどうかです。私は特に、教育について興味があるので、塾でも、しっかりとどのような理念や精神をもっているのか、ということを見ています。もう 1 つは、アットホームな会社がいいです。会社の雰囲気はすごく大事だと思うので、楽しく働けそうな場所ならいいなと思います。
B 大学	4	2	女性への理解があり、長く働ける企業
B 大学	4	1	働きながら専門知識の習得ができ、かつ、働く環境と福利厚生、そして給与体系が公務員並み以上なら働きたい。
B 大学	4	2	女性に対して柔軟性のある働き方をさせてくれる企業。社内が清潔で明るい企業。
B 大学	4	1	労働環境がいい。有給休暇の消化率がいい。労働環境の雰囲気がいい。残業手当てがちゃんとでる。残業時間が無理のない程度。
B 大学	4	1	福利厚生が充実。何かある一定の分野で強みを持っている。大企業にないアットホーム感。1 つの企業の下請けではなくいくつもの取引先を持っている。
B 大学	4	1	十分な休みがある、場所が便利などところにある、昇級のチャンスがある、評価制度が明確である、経営方針に共感できる。
B 大学	4	1	自分にとって魅力に感じるような事業をしているところ。福利厚生があり、女性にとっても働きやすい（出産前後の休暇、育児休暇あり）環境。不正などしてはなく、公正であるところ。
B 大学	4	2	週休 2 日。女性が働きやすい環境（育休産休がきちんととれる）。
B 大学	4	1	家族のように扱ってくれる社風であり、給料は良くなくても、福利厚生が整っている企業がよいです。
B 大学	4	2	自分を出世コースにのせてくれて月 35 万円給料をくれる企業。
B 大学	4	1	働くことで人としての成長性を感じられる中小企業が良い。
B 大学	4	1	その事業や仕事世の中の役になっていると実感できる中小企業なら働きたいと考えます。加えて、中小企業は長時間労働のイメージがあるので、適度な労働時間であることが条件として私は考えます。
B 大学	4	1	福利厚生がしっかりしていることが大前提、有給休暇が取りにくい雰囲気があるのは好ましくない。給料は 20 万スタートで最低年 2 回昇給があること。
B 大学	4	2	どの企業に対してもだが、企業で働く者の方向性が揃っている企業。大企業よりも人数が少ない分、より濃密な意思疎通を図ることができるため、共通認識がズレにくいはずだ。給与に関しては手取り 20 万もらえればそのあと自分の努力次第で昇格していくなら問題なし。福利厚生も最低限あれば大丈夫です。
B 大学	4	1	福利厚生がしっかりしており、新入社員の教育体系が整っている企業。
B 大学	4	2	福利厚生が充実。みなし残業なし。安定。社風。
B 大学	4	2	自分がやりたい仕事ができる環境がある企業。
B 大学	4	1	地域に貢献として密着して地域活動に対して支援などを行っている企業。
B 大学	4	2	大企業と変わらない賃金。やりがい（目標を自分で設定できる）仕事を任せてもらえる。働く時間が無理のない 8 時間労働。残業の場合も必ず賃金が出ること。
B 大学	4	2	休みがしっかり確保されている（土日は必ず休みなど）。
B 大学	4	1	自分の実力と想いをしっかり見てもらえるところ。自分にあった職場。
B 大学	4	2	転職がない、実家から通える。社長との距離が近く、発言しやすい。尊敬できる人がいる。残業代がしっかり出る。年間休日が 120 日以上ある。
B 大学	4	1	月給 18 万。大企業の下請けの会社。完全週休 2 日制。あちこちに飛ばさないところ。
B 大学	4	1	適当に働けてまあまあお金がもらえ、十分な余暇があり労基法も含めて規律が守られている。要するにブラックでなければ構わない。今は小さくとも将来性があるとなおよし。潰れそうなくらい不安定だと怪しい。
B 大学	4	1	私は海外ビジネスに関与する中小企業に働きたいです。その仕事を通じて、海外のビジネス情報も把握できるし、実践的な経験もできるからです。

大学名	学年	性別 (男1 女2)	記述
B 大学	4	1	年収が大企業より少ないのは理解できます。大企業のような福祉があれば働きたくなると思います。
B 大学	4	1	私が働きたい中小企業は社員のワークライフバランスを一番に考えてくれる企業です。また会社の展望や、未来がしっかりしてるとなおいいです。
B 大学	4	1	給料(手取り初任給 25万以上)。福利厚生(家賃手当込み)。会社目標と自分のベクトルが同方向
B 大学	4	1	私が働きたいと思う中小企業は海外に進出する野心を持っているかどうかです。まだ未開と言われるアフリカや中南米など多くの可能性がある場所に進出しようとする企業で働きたいです。また、残業などは強制せずになりたい人がする仕組みがよいです。
B 大学	4	1	大企業に比べて給料が低かったとしても、労働時間の規定が厳守(サビ残禁止・自宅に仕事を持ち帰るのも禁止)されていれば働いても構わない。
B 大学	4	1	世間に影響力が強い会社。月給 25 万以上。自分の意見が反映される
B 大学	4	2	私は就職活動を終了し、大企業への内定が決定した。したがって、それ以上の物理的な条件を求める。月給 40 万以上。月間労働時間 80 時間以下。しかし、コミュニティや感情面では中小企業でも優位な点は多くあると思う。
B 大学	4	2	月 30 万円。住宅手当有り。昇給、賞与が年 2 回。フレックスタイム制。
B 大学	4	2	福利厚生や給料の面で大企業に魅力を感じる。やっぱり 20 万は月給ほしい。大企業で働くことのメリットとして、転職の際のネームブランドなどもあると思うからそうゆうアピールポイントがちゃんとある中小企業なら働きたい。
B 大学	5	1	地域との交流がある。能力・成果を公正に評価するシステムがある。完全週休 3 日。ボトムアップな企業。
B 大学	5	1	目新しい事業をやる活性のある中小企業。ただし、無謀なことをやるのではなく現実的で無茶苦茶しない。
B 大学	5	1	中小企業ならではの技術力があり、世界シェアトップなど実績のある中小企業で働きたい。
B 大学	5	1	どこの企業に行っても今の自分がまだ持っていたスキルが手に入ると思うが自分の好奇心を高めるスキルを身に付けられる企業がいいです。
B 大学	5	1	働く環境が良いこと。人によって違うが、私の言う環境は、上司や同期が前向きに仕事をしようとしている場であったり、切磋琢磨しようとしている環境です。現在内定を頂いているが、就職活動をする上で、職種どうのこのよりも、こちらを優先して就職を決めた。余談だが結果として、ベンチャーの方が、役員以外の社員のモチベーションが高いように感じる。
B 大学	5	1	自尊心を保てるか否か
B 大学	5	1	出産前後へのケア、手当が行き届いている企業。就業時間への融通、賃金、保育所など。
B 大学	6	1	休日がしっかり取れて年収が最低 400 万以上のところがいいです。また仕事内容というよりも自分に合った社風を優先します。
B 大学	6	1	キャリアアップになる実績を早期の段階で任してもらえらる。転職を応援してくれるような風潮。裁量の大きさ。成長できる環境。
B 大学	7	1	確固たるイノベーションの源泉を持ち得るかどうか。長期的なビジョンをしっかりと描けているか。それを社内全体で共有できているか。
B 大学	1	1	中小企業では従業員の人数が少ないので、人間関係が重要だと思う。そして、大企業で専門型人材に対して、全能型の人材を目指し、育成されたいです。
B 大学	1	1	給料 20 万くらいで
B 大学	1	1	一番のは、企業が従事していることは未来性が見えるかどうか気になります。そして、業界の進化、変化に対してちゃんと応じているの企業に従事したいです。
B 大学	1	1	職員を育てることができる中小企業。社員に自由を与え、社員の熱情を励ます。中小企業は大企業よりもっと多いの自由が与えられる。そして、社員は自分の意見を社長に伝えるこちができる。自我管理のことが多いです。中小企業は社員を採用する時は、社員の知識能力を重視して、チームワーク能力を重視して、コミュニケーション能力を重視する。
B 大学	1	1	中小企業へ行きたいの原因は、小企業で働くのは大企業よりもっと早く自分の能力を向上させる。それだけでなく、小企業で働くのは上司と直接接することができる。
B 大学	3	1	アットホームな雰囲気、上司や部下との距離が近く、仲間意識を強く持って、働ける会社。給料は人並みにもらえれば、あまり高くは望まない(年収 500 万前後)。
B 大学	4	2	企業理念や経営者の考え方を知りたい。利益重視。長期的な視点で経営されているのか。従業員の育成や大切に思っているかどうか。会計の明瞭化。利益配分が適正かどうか。社風や組織風土がどうか。がんばったら適正に評価していただけるのかどうか。